

# **LX PlugfreeNETWORK**

## **ネットワーク自動接続モード**

### **操作手引書**

2003年 8月 初版



# はじめに

## 本書の目的

本書は、LX PlugfreeNETWORK ネットワーク自動接続モード（以降 Seamlesslink と表記）の機能と使用方法について説明します。動作モードについては、3.2.3 動作モードを参照してください。

## 本書の読者

本書は、Seamlesslink を利用される方を対象に記述しています。

## 本書の構成

本書の構成と内容は、以下のとおりです。

### 第1章 概要

Seamlesslink の製品概要について説明します。

### 第2章 機能

Seamlesslink が提供する各機能について説明します。

### 第3章 操作方法

Seamlesslink の操作方法について説明します。

### 第4章 環境設定方法

Seamlesslink の環境設定方法について説明します。

### 第5章 制限事項

Seamlesslink の制限事項について説明します。

### 第6章 トラブルシューティング

Seamlesslink のトラブルシューティングについて説明します。

## マニュアルの印刷について

マニュアルを印刷する場合には、PDF ファイルをご利用ください。

PDF ファイルの参照・印刷には、Adobe Acrobat Reader が必要です。Adobe Acrobat Reader V4.0 以上をお使いください。

## 本書の表記について

本書中の表記方法は、以下のとおりです。

-  **ポイント** ポイントとなる内容について説明します。
-  **注意** 注意する項目について説明します。
-  **参考** 参考となる内容について説明します。

## 商標について

Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

そのほか、本書に記載されている会社名および製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

## 高度な安全性が要求される用途への使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業等の一般的用途を想定して開発・設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途(以下「ハイセイフティ用途」という)に使用されるよう開発・設計・製造されたものではありません。お客様は本製品を必要な安全性を確保する措置を施すことなくハイセイフティ用途に使用しないでください。

また、お客様がハイセイフティ用途に本製品を使用したことにより発生する、お客様または第三者からのいかなる請求または損害賠償に対しても、富士通株式会社、株式会社PFUおよびその関連会社は一切責任を負いかねます。

#### **お願い**

- 本書を無断で他に転載しないようお願いします。
- 本書は予告なしに変更されることがあります。

2003年 8月 初版

All Rights Reserved, Copyright(C) 富士通株式会社 2003

## 目 次

第1章	概要	1
1.1	Seamlesslink とは	2
第2章	機能	3
2.1	シームレスローミング機能	4
2.2	セキュリティ機能	5
2.3	所在管理（オプション）機能	6
第3章	操作方法	7
3.1	起動方法	8
3.2	メイン画面	10
3.2.1	画面構成	12
3.2.2	メニュー	15
3.2.3	動作モード	22
3.3	通信の接続方法 / 切断方法	23
3.3.1	接続方法	23
3.3.2	切断方法	26
第4章	環境設定方法	29
4.1	設定の新規作成 / 追加	30
4.1.1	「ウィザード」の実行方法	30
4.1.2	「ウィザート」実行時の注意事項	33
4.2	設定の確認 / 変更, 削除	34
4.2.1	「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログ	34
4.2.2	設定の確認 / 変更	38
4.2.3	「設定の確認 / 変更」ダイアログ	40
4.2.4	設定の削除	65
4.3	設定のインポート / エクスポート	67
4.3.1	「設定のインポート / エクスポート」ダイアログ	67
4.3.2	設定のインポート	70
4.3.3	設定のエクスポート	72
4.4	アドバンス設定による詳細環境設定	73
4.4.1	「アドバンス設定」ダイアログ	73
第5章	制限事項	97
5.1	制限事項	98
第6章	トラブルシューティング	99
6.1	メッセージ	100
6.1.1	起動 / 終了時に表示されるメッセージ	100
6.1.2	接続 / 切断時に表示されるメッセージ	101

6.1.3	設定の作成 / 編集、削除時に表示されるメッセージ	102
6.1.4	設定のインポート / エクスポート時に表示されるメッセージ	103
6.2	ログ	104
6.2.1	イベントログ	104
6.2.2	トレース	105



# **第1章 概要**

---

本章では、Seamlesslink の製品概要について説明します。

## 1.1 SeamlessLink とは

Seamlesslink は、モバイル端末(Pocket LOOX)が、通信メディア(有線 LAN、無線 LAN、携帯電話、PHS など)やサブネットの異なるネットワークへ移動しても、その場で最適な通信デバイスを選択し、自動的に移動先のネットワークに接続するソフトウェアです。

Seamlesslink のシームレスローミング機能により、通信中に通信デバイスが切り替わっても途切れることなく連続してデータを送受信し続けることができるため、アプリケーションを終了させることなく通信を継続できます。

Seamlesslink のセキュリティ機能により、無線 LAN を利用した通信を保護します。また、サブネットが異なる無線 LAN ネットワークへ移動しても、ユーザ側の操作なしでセキュリティを維持できます。

利用者は、通信速度や通信料金などの接続条件も含めてネットワーク接続先をあらかじめ設定しておくことで、会社・自宅・出先において、接続先の切替えをワンタッチで行えます。



参考

Seamlesslink のシームレスローミング機能やセキュリティ機能を利用するためには、Seamlesslink V1.0L10(以降、Seamlesslink サーバと表記)のホームエージェント(以降、HA と表記)やセキュリティゲートウェイが必要です。HA やセキュリティゲートウェイについては、Seamlesslink サーバに同梱されている「Seamlesslink 説明書」を参照してください。

## 第2章 機能

---

本章では、Seamlesslink の機能について説明します。

機能は、以下の三つから構成されています。

シームレスローミング機能

セキュリティ機能

所在管理（オプション）機能

## 2.1 シームレスローミング機能

モバイル端末（Pocket LOOX）が、異なるネットワーク間を移動しても、その場で最適なネットワークへ切り替え、自動的に接続します（ネットワーク自動接続機能）。また、HA と連携することにより移動に伴う通信を継続します。  
通信を継続するためのプロトコルとして、MobileIP を使用しています。



**参考** ネットワーク自動接続機能だけを利用する場合、Seamlesslink 単独で動作可能です。  
HA との連携は必要ありません。



**注意** Pocket Internet Explorer を使用した通信は、HA と連携しても継続されません。

## 2.2 セキュリティ機能

セキュリティゲートウェイと連携することにより、無線 LAN 区間の通信データを保護します。

セキュリティを確保するためのプロトコルとして IP Security Protocol ( IPsec ) を使用しています。

## 2.3所在管理（オプション）機能

所在管理サーバと連携することにより、モバイル端末（Pocket LOOX）が、ネットワーク上のどこにいるかといった所在情報を提供します。



**参考** 所在管理機能を利用するためには、Seamlesslink サーバの HA と SeamlessLink 所在管理オプション V1.0L10 の所在管理サーバが必要です。所在管理サーバについては、Seamlesslink 所在管理オプション V1.0L10 に同梱されている「Seamlesslink 説明書」を参照してください。

## **第3章 操作方法**

---

本章では、Seamlesslink の操作方法について説明します。

## 3.1 起動方法

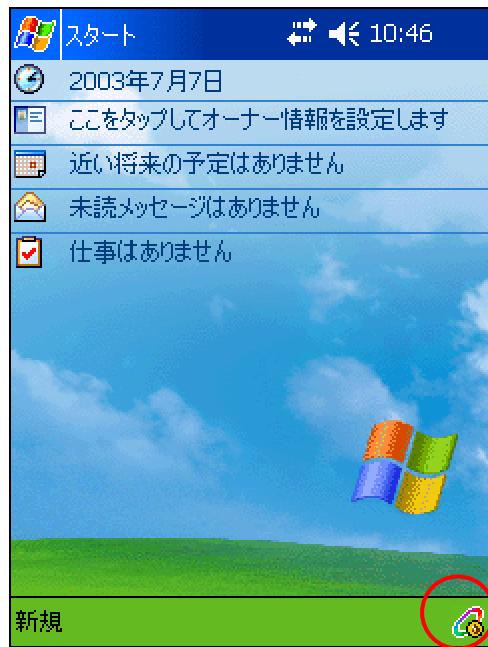
ここでは、Seamlesslink の起動方法について説明します。

起動は、 - [プログラム] - [LX PlugfreeNETWORK]をタップすることで行います。LX PlugfreeNETWORK が起動され、図3-2 メイン画面が表示されます。

### 起動の確認

起動の確認は、Today 画面のコマンドバーにアイコンが表示されていることで確認できます。

図3-1 起動状況画面



## 接続状態の確認

接続状態は、Today 画面のコマンドバーのアイコン表示で確認できます。

表3-1 接続状況

アイコン	説明
	切断中
	接続中
	接続中（従量課金）
	接続中（MobileIP）
	接続中（IPsec）

「従量課金」、「MobileIP」、「IPsec」に関しては組み合わせで表示されます。



**注意** 本バージョンの ネットワーク自動接続モードでは、「IPsec」だけでの動作はサポートしていません。IPsec の機能を利用する場合、MobileIP 機能を使用する必要があります。



**参考** MobileIP 機能および IPsec 機能の使用については、3.2.2.2 オプションを参照してください。

## 3.2 メイン画面

ここでは、Seamlesslink の基本的な操作を行うメイン画面について説明します。

### 各部の名称

メイン画面は、 - [プログラム] - [LX PlugfreeNETWORK]をタップすることで表示されます。

図3-2 メイン画面



表3-2 各部の名称

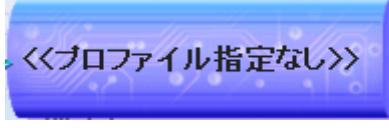
番号	名称	説明
	スクロールボタン	候補の接続カードを上 / 下方向にスクロールします。
	接続カード表示領域	接続カードが表示される領域です。接続カードは、最大 5 枚まで表示されます。6 枚以上ある場合は、スクロールすることで表示されます。
	詳細情報表示領域	接続カードの詳細情報が表示される領域です。上記 の接続カードのうち最前面にあるカード（フォーカスカード）の詳細情報が表示されます。詳細情報の表示内容については、 <a href="#">詳細情報表示領域の表示</a> を参照してください。 なお、ここで動作モード（通常モード / ネットワーク自動接続モード）の確認ができます。動作モードについては、 <a href="#">3.2.3 動作モード</a> を参照してください。
	接続カード総数表示領域	接続カードの総数が表示される領域です。
	Seamlesslink ロゴ表示領域	Seamlesslink 機能がインストールされていることを示す領域です。
	メニュー	[ ネットワーク設定 ] [ オプション ] [ バージョン情報 ] [ 終了 ] のメニューを表示します。

### 3.2.1 画面構成

#### 接続カードの種類

接続カードの種類は、以下のとおりです。

表3-3 カード種類

接続カード種類	状態	説明
	非フォーカスカード	接続カード表示領域に表示された接続カードのうち最前面以外にあるカードです。
	フォーカスカード	接続カード表示領域に表示された接続カードのうち最前面にあるカードです。
	フォーカスカード	設定の新規作成用カードです。候補となる接続カードが一つもない場合、自動的に表示されます。
	フォーカスカード	接続カードを特定せずに接続を行うためのカードです。接続用カードを一つでも設定した場合、自動的に追加表示されます。

## 接続カードのスクロール選択

目的の接続カードがフォーカスカードではない場合は、目的のカードが表示される

まで、ボタンまたはボタンをタップするか(フォーカスカードの上／下の領域でも可能)、またはスクロールレバーの[上／下]ボタンを操作します。

## ポップアップメニューの表示

ポップアップメニューは、フォーカスカードをタップしたまま押さえていると表示されます。表示されるメニューは、接続カードの種別や接続状態などによって異なります。詳細については、3.3 通信の接続方法／切断方法、4.1 設定の新規作成／追加、4.2 設定の確認／変更、削除 および 4.3 設定のインポート／エクスポートを参照してください。

## 詳細情報表示領域の表示

詳細情報表示領域は、LX PlugfreeNETWORK が通常モード動作中か、ネットワーク自動接続モード動作中かで以下のように表示する内容が異なります。

なお、表示される内容は、フォーカスカードの詳細情報です。

図3-3 詳細情報表示領域画面

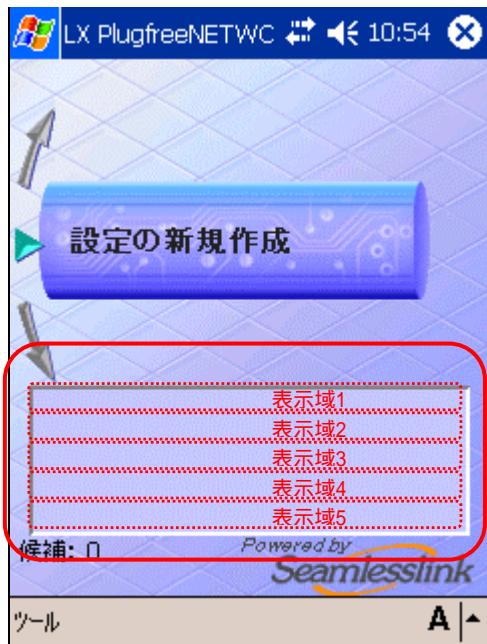


表3-4 動作モード別詳細情報表示領域

表示域	通常モード	ネットワーク自動接続モード
表示域1	ダイヤルアップ用：「接続先：～」 LAN 接続用：「LAN」	ネットワーク自動接続モード：「ネットワーク自動接続モード」
表示域2	ダイヤルアップ用：「電話番号：～」 LAN 接続用：「IP アドレス：～」 IP アドレスが自動取得の場合は、「DHCP から取得」を表示します。	「接続状態：～」 接続状況が表示されます。 切断状態 : 未接続 切断処理中 : 切断処理中 接続開始 / 切替え中 : 接続開始… 接続待機中 : 接続待機中 接続中 : 接続中
表示域3	「プロキシ：～」 プロキシサーバのIP アドレスまたは URL が設定されている場合、その内容が表示されます。設定されていない場合は「なし」が表示されます。	「接続メディア：～」 接続メディア情報が表示されます。 例)「接続メディア：W-LAN」
表示域4	「VPN : ～」 VPN サーバの IP アドレスまたは URL が設定されている場合、その内容が表示されます。設定されていない場合は、「なし」が表示されます。	「従量課金：～」 従量課金の情報が表示されます。 例)「従量課金：3.0円／分」
表示域5	「接続 ISP : ～」 接続状態が表示されます。 切断状態 : 未接続 接続開始 : 接続開始… 接続中 : 接続中 不明 : 接続状態不明…	「接続 ISP : ～」 接続中の ISP 情報が表示されます。 例)「従量課金：W-LAN APs」

### 3.2.2 メニュー

メニューでは、接続先の設定情報の確認 / 変更、削除やバージョン情報表示などを行うことができます。メニュー画面は、[ツール]をタップすることで表示されます。

図3-4 メニュー画面

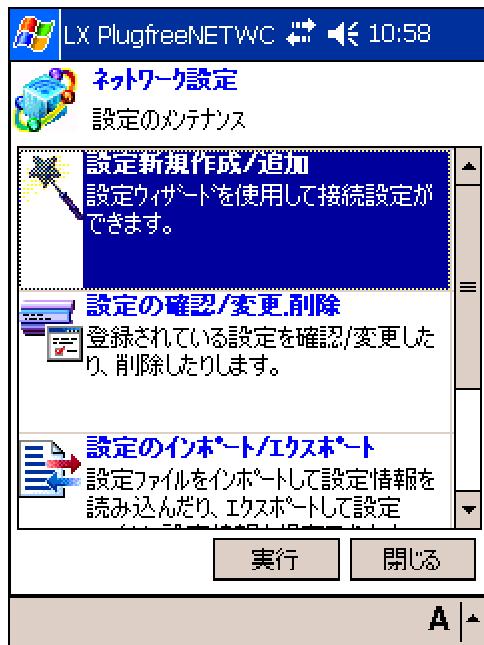


#### 3.2.2.1 ネットワーク設定

ネットワーク設定では、接続先設定情報のメンテナンスを行うことができます。「ネットワーク設定」ダイアログは、[ツール] - [ネットワーク設定]をタップすることで表示されます。

各機能の詳細については、4.1 設定の新規作成 / 追加、4.2 設定の確認 / 変更、削除、4.3 設定のインポート / エクスポートを参照してください。

図3-5 「ネットワーク設定」ダイアログ



#### [実行]ボタン

上記の ~ のいずれか一つを選択して [ 実行 ] ボタンをタップすると、選択した機能のダイアログが表示されます。

表3-5 ネットワーク設定のダイアログ表示

機能名	ダイアログ表示内容
「設定新規作成 / 追加」	接続先の設定情報を新規作成するためのウィザードを表示します。
「設定の確認 / 変更、削除」	現在の接続先の設定情報を確認 / 変更したり、削除したりするためのダイアログを表示します。
「設定のインポート / エクスポート」	現在の接続先の設定情報を外部ファイルにエクスポートしたり、エクスポートしたファイルをインポートしたりするためのダイアログを表示します。

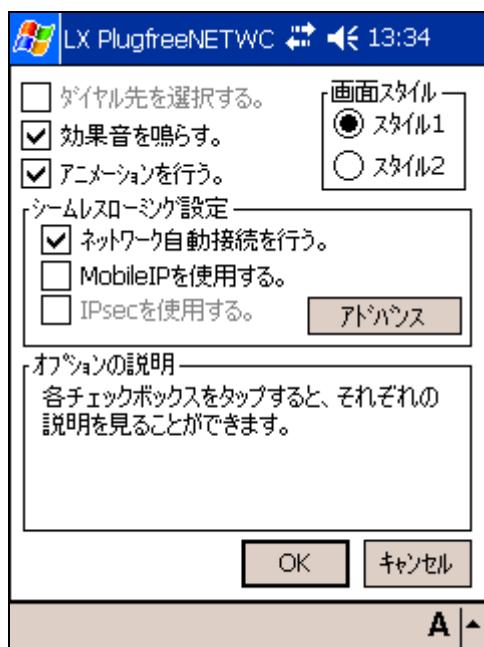
#### [閉じる]ボタン

「ネットワーク設定」ダイアログを閉じます。

### 3.2.2.2 オプション

オプションでは、LX PlugfreeNETWORK の動作や ネットワーク自動接続モードでの動作に関する設定を行うことができます。「オプション」ダイアログは、[ツール] - [オプション]をタップすることで表示されます。

図3-6 「オプション」ダイアログ



#### ダイヤル先を選択する

接続候補として複数のダイヤルアップ先（電話番号）がある場合の動作を指定します。（ネットワーク自動接続モードでは常に自動選択のため指定できません。）

#### 効果音を鳴らす

LX PlugfreeNETWORK 起動時、接続カード選択時、接続先への接続時、および接続先からの切断時に、効果音を鳴らすかどうかを指定します。

ON : 効果音を鳴らす。（デフォルト）

OFF : 効果音を鳴らさない。



**注意** ネットワーク自動接続モードでは接続時と切断時は、このオプションが OFF の場合であっても効果音が鳴ります。

## アニメーションを行う

接続カードをスクロールした場合、アニメーションを行うか、行わないかを指定します。

ON : アニメーションを行う。(デフォルト)

OFF : アニメーションを行わない。

## 画面スタイル

### [スタイル 1] (デフォルト)

画面デザインをスタイル 1 で表示する。

図3-7 スタイル1画面



### [スタイル 2]

画面デザインをスタイル 2 で表示する。

図3-8 スタイル2画面



## シームレスローミング設定

### [ネットワーク自動接続を行う]

ネットワーク自動接続モードでネットワークに自動で接続を行うか、行わないかを指定します。

ON : ネットワーク自動接続を行う。(デフォルト)

OFF : ネットワーク自動接続を行わない。



**ポイント** このオプションが ON (デフォルト) の場合、ネットワーク自動接続モードとなります。

### [MobileIP を使用する]

ネットワーク自動接続モードで MobileIP を使用するか、使用しないかを指定します。

ON : MobileIP を使用する。

OFF : MobileIP を使用しない。(デフォルト)



**注意** このオプションを使用する場合、[ ネットワーク自動接続を行う ] を ON (デフォルト) にする必要があります。



**注意** このオプションの設定を変更した場合、Pocket LOOX がリセットされます。他のアプリケーションを使用している場合、このオプションを変更する前にデータを保存してください。

### [IPsec を使用する]

ネットワーク自動接続モードで IPsec を使用するか、使用しないかを指定します。

ON : IPsec を使用する。

OFF : IPsec を使用しない。(デフォルト)



**注意** このオプションを使用する場合、[ ネットワーク自動接続を行う ] および [ MobileIP を使用する ] を ON にする必要があります。

### [アドバンス]ボタン

Seamlesslink 機能の動作環境などの設定を行うためのダイアログを表示します。



**注意** [アドバンス]ボタンでは、ネットワーク自動接続モードの詳細な設定を行うため、[ネットワーク自動接続を行う]を ON (デフォルト)にする必要があります。

### オプションの説明

選択したオプションに関するヒントが表示されます。

### [OK]ボタン

設定内容を有効にして、このダイアログを閉じます。

### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にして、このダイアログを閉じます。

### **3.2.2.3 バージョン情報**

---

バージョン情報では、LX PlugfreeNETWORK と Seamlesslink の正式名称とバージョン情報を確認できます。「バージョン情報」ダイアログは、[ツール] - [バージョン情報] をタップすることで表示されます。

図3-9 「バージョン情報」ダイアログ



### 3.2.3 動作モード

ここでは、LX PlugfreeNETWORK の動作モードについて説明します。動作モードには以下の二つがあります。動作モードによって、ネットワーク接続の切替え方法が異なります。また、動作モードによって、異なるダイアログ画面が表示されたり、異なる内容が画面に表示されたりします。

#### 通常モード

Seamlesslink 機能を使用しない動作モードです。手動でネットワーク接続の切替えを行う必要があります。

#### ネットワーク自動接続モード

Seamlesslink 機能を使用する動作モードです。自動的にネットワーク接続の切替えを行うことができます。また、MobileIP 機能や IPsec 機能も利用できます。

Seamlesslink 機能をネットワーク自動接続モードで動作させるためには、オプションで [ ネットワーク自動接続を行う ] を ON (デフォルト) にする必要があります。また、IPsec の機能は、オプションで [ MobileIP を使用する ] を ON にする必要があります。設定の確認については、3.2.2.2 オプションを参照してください。

### 3.3 通信の接続方法 / 切断方法

Seamlesslink は、あらかじめ設定した接続カードの接続情報に従った接続や通信中の接続カードの切断を行うことができます。ここでは、接続方法と切断方法について説明します。

#### 3.3.1 接続方法

指定した接続カードの接続情報に従って接続します。接続方法には、以下の三つがあります。

1. フォーカスカードをタップする。
2. フォーカスカードにした後に、カーソルボタン（決定ボタン）を押す。
3. フォーカスカードをタップしたまま押さえていると表示されるポップアップメニューで[接続]をタップする。



参考

カーソルボタンとは、Pocket LOOX 上のボタンです。ボタンの中央を押すことで、パソコン用キーボードの“Enter”キーに相当する操作（決定や実行）が行えます。また、パソコン用キーボードの矢印キーに相当するボタンで、選択項目やカーソルを上下左右に移動できます。

ここでは、3.の方法を例に説明します。

図3-10 接続用ポップアップメニュー画面

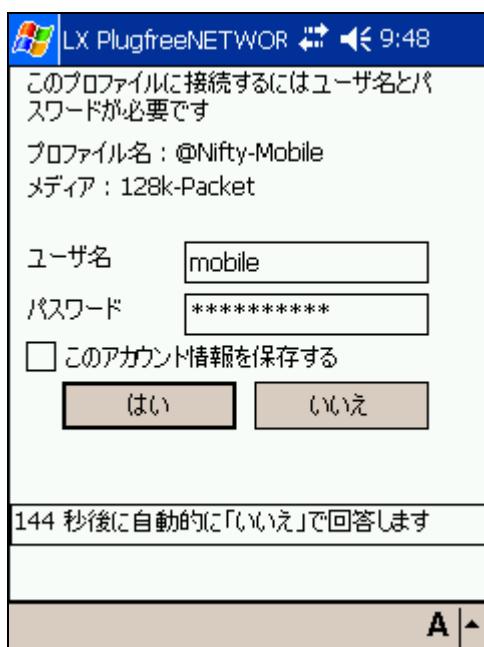


[接続]をタップした場合、接続が開始されます。通信状態が詳細情報表示領域に表示されます。表示内容については、詳細情報表示領域の表示を参照してください。

## ユーザへのアカウント入力要求

アカウントの設定が行われていない場合、「アカウント」ダイアログが表示されます。  
規定時間内にユーザ ID とパスワードを入力しない場合、自動的に [いいえ] ボタンが選択され、ダイアログが閉じます。

図3-11 「アカウント」ダイアログ



### プロファイル名

プロファイル名が表示されます。

### メディア

メディア名が表示されます。

### ユーザ名

ログオンする際のユーザ ID を入力します。

### パスワード

ログオンする際のパスワードを入力します。

### このアカウント情報を保存する

アカウント情報を保存したい場合、入力します。

入力した場合、アカウント情報が保存され、次回からこの「アカウント」ダイアログは表示されません。

### [はい]ボタン

接続を開始します。

### [いいえ]ボタン

接続をキャンセルします。



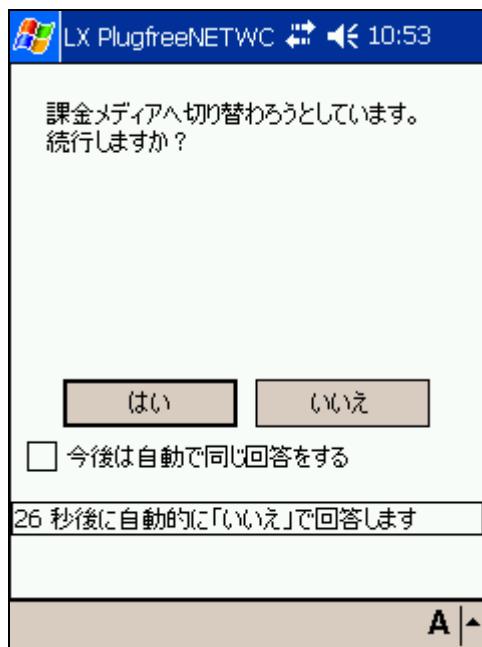
**参考** ユーザ ID とパスワードを確認、変更、削除したい場合は、[ツール] - [ネットワーク設定] - [設定確認 / 変更, 削除] - [アカウント] タブで行います。

## 課金メディアの切替え確認メッセージ

通信中に課金されるメディアへの切替えが発生した場合、「課金メディア切替え確認メッセージ」ダイアログが表示されます。課金メディアの切替えを行うか、行わないかを選択してください。

規定時間内に、[はい] ボタンまたは[いいえ] ボタンをタップしなかった場合は、自動的に[いいえ] ボタンが選択され、「課金メディア切替え確認メッセージ」ダイアログが閉じます。

図3-12 「課金メディア切替え確認メッセージ」ダイアログ



[はい] ボタン

課金メディアの切替えを行います。

[いいえ] ボタン

課金メディアの切替えを行いません。

[今後は自動で同じ回答をする]

次回、表示される確認メッセージについて同じ回答を行いたい場合、チェックします。



**参考** 「課金メディア切替え確認メッセージ」ダイアログの表示 / 非表示の設定については、[ツール] - [オプション] - [アドバンス] ボタンの「接続環境設定」ダイアログで行います。

### 3.3.2 切断方法

指定した接続カードの切断を行うことができます。切断方法には、以下の三つがあります。

1. 接続中に接続カードをタップする。
2. 接続中にカーソルボタン（決定ボタン）を押す。
3. 通信中にフォーカスカードをタップしたまま押さえていると表示されるポップアップメニューで[切断]をタップする。



**参考** カーソルボタンとは、Pocket LOOX 上のボタンです。ボタンの中央を押すことで、パソコン用キーボードの“Enter”キーに相当する操作（決定や実行）が行えます。また、パソコン用キーボードの矢印キーに相当するボタンで、選択項目やカーソルを上下左右に移動できます。

ここでは、3.を例に説明します。

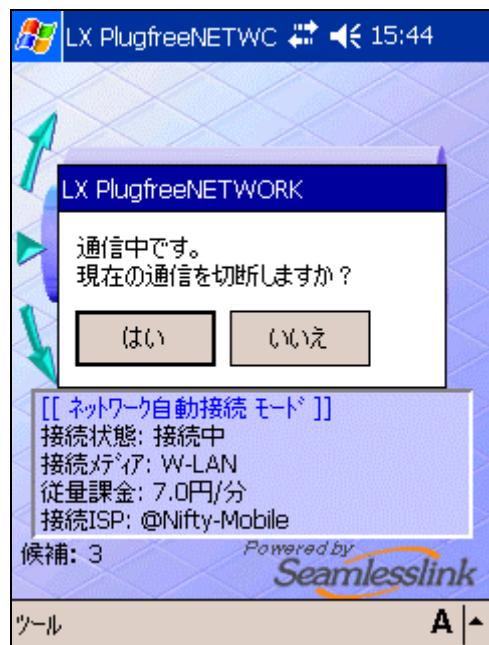
図3-13 切断用ポップアップメニュー画面



## 切断確認メッセージ

[切断]をタップした場合、「切断確認メッセージ」ダイアログが表示されます。

図3-14 「切断確認メッセージ」ダイアログ



### [ はい ] ボタン

通信を切断してメイン画面に戻ります。

通信状態が変更されるため、詳細情報表示領域が更新されます。表示内容については、詳細情報表示領域の表示を参照してください。

### [ いいえ ] ボタン

通信中のまま、「切断確認メッセージ」ダイアログを閉じて、メイン画面に戻ります。



# 第4章 環境設定方法

---

本章では、Seamlesslink の環境設定方法について説明します。

Seamlesslink を利用してネットワークに接続するためには、事前に環境設定を行い、“プロファイル”を作成する必要があります。

作成された“プロファイル”は、図3-2 メイン画面の接続カード表示領域に接続カードとして表示されます。

“プロファイル”は、以下のいずれかの方法で設定を行うことができます。

新規作成 / 追加を行う場合

4.1 設定の新規作成 / 追加ウィザードを実行します。

確認、変更、削除を行う場合

4.2 「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログから行います。

既存の環境設定を流用する場合

4.3 「設定のインポート / エクスポート」ダイアログから行います。

## 4.1 設定の新規作成 / 追加

ここでは、プロファイルの新規作成と追加について説明します。

プロファイルの新規作成 / 追加は、ウィザードで行います。ウィザードの指示に従って、設定を行うことで基本的な SeamlessLink の機能が利用できます。

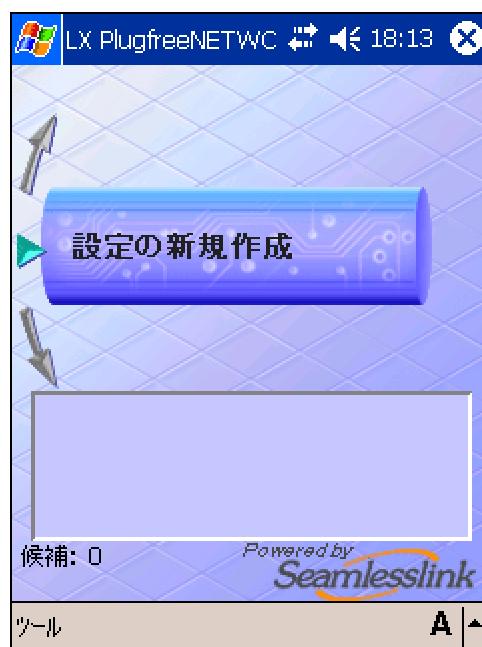
### 4.1.1 ウィザードの実行方法

ウィザードの実行方法には二つあります。ウィザードを実行したあとは、指示に従って設定を行います。

#### 1. 「設定の新規作成」カードを利用する方法

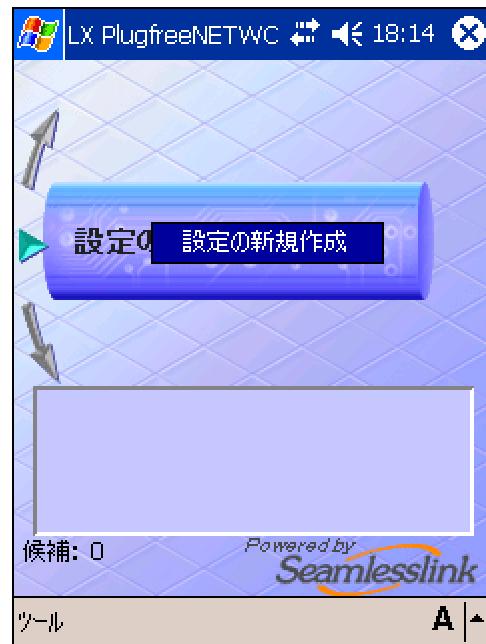
「設定の新規作成」カードをタップする。

図4-1 設定の新規作成カード



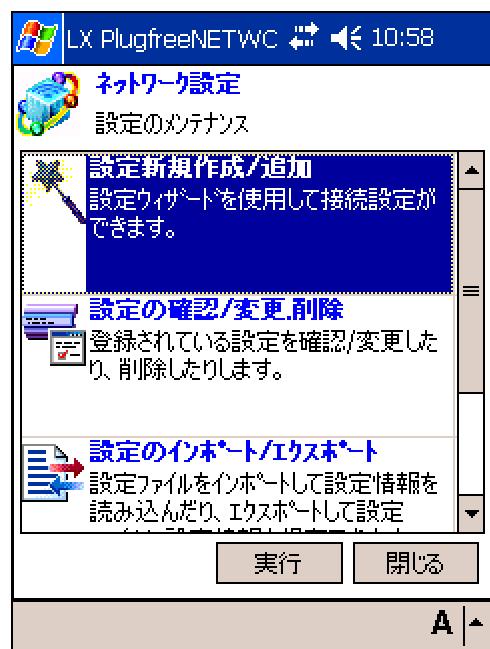
「設定の新規作成」カードをタップしたまま押さえていると表示されるポップアップメニューをタップする。

図4-2 設定の新規作成カードのポップアップメニュー



2. 「ネットワーク設定」ダイアログを利用する方法
- 「ネットワーク設定」ダイアログは、[ツール] - [ネットワーク設定] - [設定新規作成 / 追加]を選択して [実行] ボタンをタップすることで表示されます。または、[設定新規作成 / 追加]をダブルタップします。

図4-3 ネットワーク設定画面



## **4.1.2 ウィザード実行時の注意事項**

ウィザード実行時の注意事項は、以下のとおりです。

プロファイル名は、新規作成後に変更はできないため、命名には充分に注意してください。

## 4.2 設定の確認 / 変更, 削除

ここでは、プロファイルの確認、変更および削除について説明します。

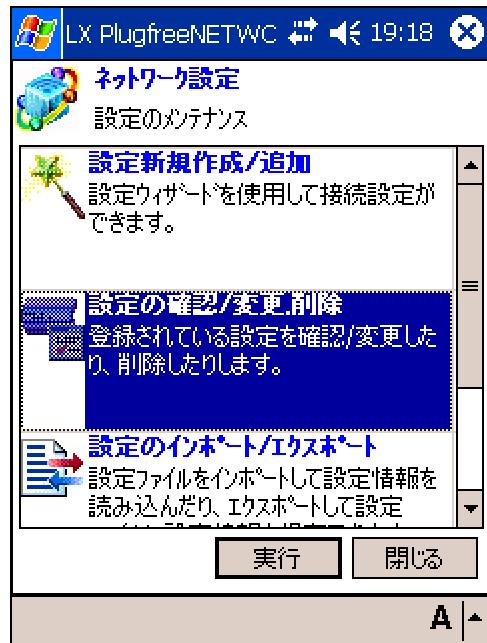
この機能により、既存の設定情報の確認、変更および削除を行います。

### 4.2.1 「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログ

「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログは、既存の設定情報（プロファイル）を確認 / 変更したり、削除したりするためのダイアログです。

「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログは、[ツール] - [ネットワーク設定] - [設定の確認 / 変更, 削除]を選択し、[実行]ボタンをタップすることで表示されます。または、[設定の確認 / 変更, 削除]をダブルタップします。

図4-4 ネットワーク設定画面



表示される「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログは以下のとおりです。

図4-5 「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログ



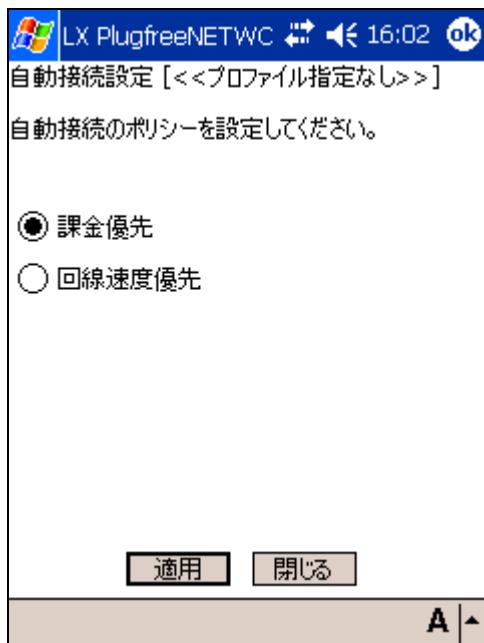
#### プロファイル

プロファイルが表示されます。[ ] ボタンをタップすることにより、すべてのプロファイルがリスト表示されます。このリストは、通常モードまたはネットワーク自動接続モードによって表示内容が異なります。



**注意** [ <<プロファイル指定なし>> ] を選択した場合、以下の画面が表示されます。

図4-6 「自動接続設定[<<プロファイル指定なし>>]」ダイアログ



#### [課金優先]

<<プロファイル指定なし>>の自動接続時は、課金優先で接続したい場合、チェックします。

#### [回線速度優先]

<<プロファイル指定なし>>の自動接続時は、回線速度優先で接続したい場合、チェックします。

#### [適用]ボタン

設定内容が有効になります。

#### [閉じる]ボタン

「自動接続設定[ <<プロファイル指定なし>> ]」ダイアログを閉じ、「設定の確認 / 変更 / 削除」ダイアログを表示します。

#### [確認 / 変更]ボタン

「プロファイル」で選択した設定の確認 / 変更を行います。



**注意** 動作モード（通常モードおよびネットワーク自動接続モード）や接続先の設定情報の違い（PPP 系 / LAN / 無線 LAN）により、下記のダイアログが表示されます。

## 通常モード

- PPP 系接続用の場合

Pocket LOOX の「接続（コネクションマネージャー）」画面が表示されます。ただし、すでに「接続」画面が実行されていた場合、表示された「接続（コネクションマネージャー）」画面で、設定の切替えを手動で行ってください。

- LAN / 無線 LAN 接続用の場合

図4-7 「設定の確認 / 変更」ダイアログが表示されます。

## ネットワーク自動接続モード

接続先の設定情報の違い(PPP 系 / LAN / 無線 LAN)にかかわらず、図 4-7 「設定の確認 / 変更」ダイアログが表示されます。

### [削除]ボタン

「プロファイル」で選択した設定を削除します。

### [閉じる]ボタン

「設定の確認 / 変更、削除」ダイアログを閉じます。

## 4.2.2 設定の確認 / 変更

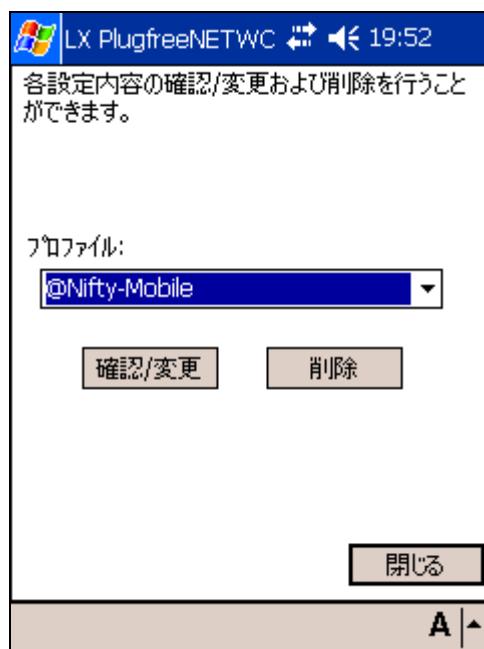
設定の確認 / 変更方法には、「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログを利用する方法と接続カードから行う方法の二つがあります。

### 「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログを利用する方法

設定の確認 / 変更を「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログから行う場合は、次の手順で行います。

1. 「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログを表示します。
2. 「プロファイル」のリストから目的のプロファイル名を選択します。

図4-7 「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログ



3. [確認 / 変更]ボタンをタップします。  
ボタンをタップすることで表示されるダイアログは、動作モード、選択した設定によって違います。詳細については、「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログの[確認 / 変更]ボタンを参照してください。

## 接続カードから行う方法

設定の確認 / 変更を接続カードから行う場合は、次の手順で行います。

1. メイン画面のフォーカスカードをタップしたまま押さえていると、ポップアップメニューが表示されます。

図4-8 「設定の確認 / 変更,削除」画面



**注意** メイン画面表示されている接続カードに対してだけ、確認 / 変更を行うことができます。

2. ポップアップメニューから[設定確認]をタップします。

ボタンをタップすることで表示されるダイアログは、動作モード、選択した設定によって違います。詳細については、「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログの[確認 / 変更]ボタンを参照してください。

### 4.2.3 「設定の確認 / 変更」ダイアログ

「設定の確認 / 変更」ダイアログは、「設定の新規作成 / 追加」のウィザードで設定した内容を確認したり、変更したりすることができます。

確認 / 変更したい場合、目的のタブをタップすることで、各タブシートを表示することができます。また、表示されていないタブを表示するには、ダイアログ右下の◀ボタンまたは▶ボタンをタップし、画面をスクロールします。

図4-9 「設定の確認 / 変更」ダイアログ

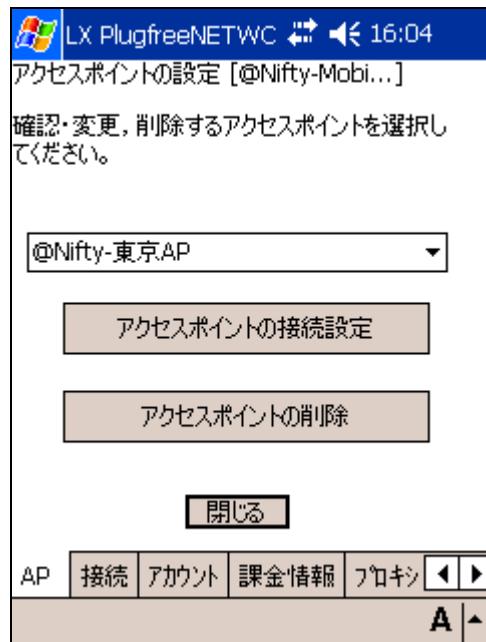


図4-10 「設定の確認 / 変更」ダイアログのタブ



#### 4.2.3.1 [AP]タブ

アクセスポイント ( PPP 系 / LAN / 無線 LAN ) の設定の確認や追加、編集、削除を行います。

#### 4.2.3.5 [接続]タブ

メディアの自動接続時のポリシー ( 課金優先 / 回線速度優先 ) や接続するメディアの設定の確認や変更を行います。

#### 4.2.3.6 [アカウント]タブ

ユーザアカウントの設定の確認や変更を行います。

#### 4.2.3.7 [課金情報]タブ

接続に使用するデバイスのメディア課金情報の確認や編集を行います。

#### 4.2.3.8 [プロキシ]タブ

接続先で使用するプロキシサーバの設定の確認や変更を行います。

#### 4.2.3.9 [MobileIP]タブ

MobileIP 機能を使用する場合の設定や変更を行います。

#### 4.2.3.10 [セキュリティ]タブ

セキュリティ ( IPsec ) 機能を使用する場合の設定や変更を行います。

#### 4.2.3.11 [その他]タブ

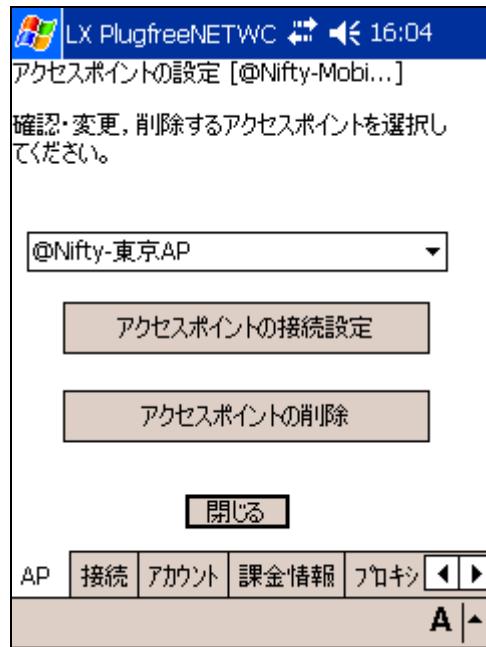
接続先のドメイン名の確認や追加、編集、削除を行います。

また、[このプロファイルを接続先に指定する]を選択できます。

#### 4.2.3.1 [AP]タブ

ここでは、PPP 系 / LAN / 無線 LAN アクセスポイントの設定の確認、変更、削除を行います。

図4-11 設定の確認 / 変更 [AP]タブ



##### アクセスポイント

設定の確認 / 変更をしたいアクセスポイントを選択します。[ ] ボタンをタップすると、アクセスポイントリストが表示されます。アクセスポイント名を直接入力することはできません。

##### [アクセスポイントの接続設定]ボタン

選択したアクセスポイントのメディア種別(PPP 系 / LAN / 無線 LAN)ごとの「設定確認 / 変更」ダイアログを表示します。

##### [アクセスポイントの削除]ボタン

選択したアクセスポイントの設定を削除します。

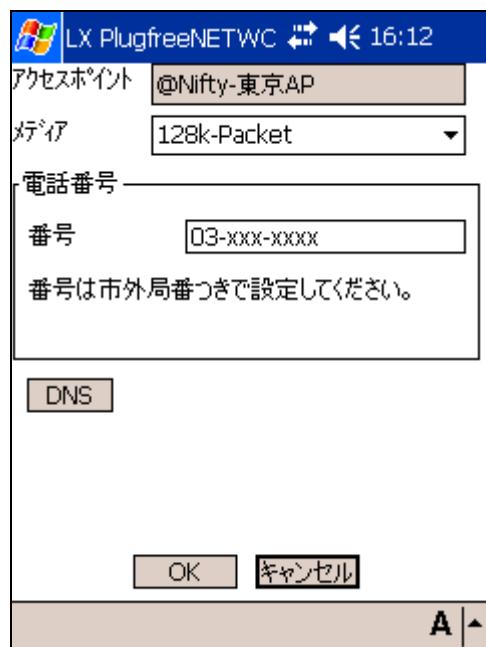
##### [閉じる]ボタン

このダイアログを閉じ、図4-7 「設定の確認 / 変更、削除」ダイアログを表示します。

#### 4.2.3.2 [AP]タブ-「PPP 系アクセスポイントの設定」ダイアログ

ここでは、PPP 系アクセスポイントの設定の確認や追加、編集、削除を行います。

図4-12 「PPP アクセスポイントの設定」ダイアログ



##### アクセスポイント

アクセスポイント名が表示されます。ここでは、アクセスポイントの変更はできません。

##### メディア

使用するメディアタイプを選択できます。[ ]ボタンをタップすると、メディアタイプリストが表示されます。メディアタイプを直接入力することはできません。



**参考** メディアタイプの追加と変更を行いたい場合は、[ツール] - [オプション] - [アドバンス] ボタン - [アドバンス設定] の [ネットワーク環境設定] - [メディア設定] 環境設定項目をタップすると表示される 4.4.1.5 「メディア設定」ダイアログで行ってください。

## 電話番号

### [ 番号 ]

アクセスポイントに接続するための電話番号を入力します。

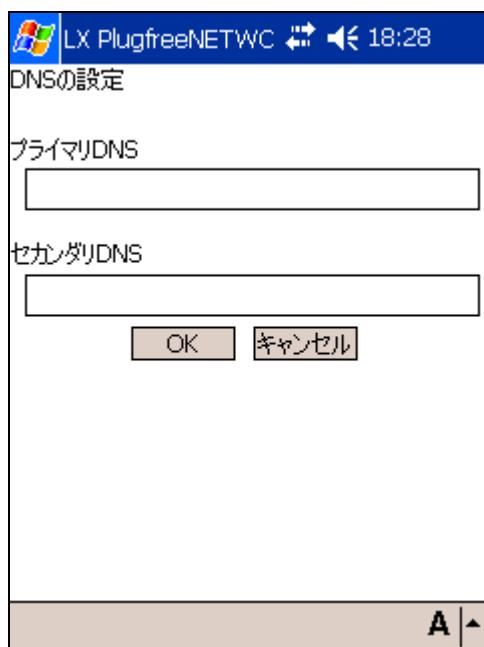
メディア設定に追加ナンバーの指定がある場合、電話番号の末尾に追加ナンバーの入力は必要ありません。

追加ナンバーの確認は、[ツール] - [オプション] - [アドバンス]ボタン - [アドバンス設定]の[ネットワーク環境設定] - [デバイス設定]環境設定項目をタップすると表示される 図4-44 「デバイス設定」ダイアログを参照してください。

### [DNS]ボタン

「DNS 設定」ダイアログが表示されます。

図4-13 「DNS 設定」ダイアログ



### プライマリ DNS

プライマリ DNS を設定します。IP アドレスの範囲以外の設定値は、入力できません。

### セカンダリ DNS

セカンダリ DNS を設定します。IP アドレスの範囲以外の設定値は、入力できません。

### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、「PPP アクセスポイントの設定」ダイアログを表示します。

**[OK]ボタン**

設定内容を有効にします。

**[キャンセル]ボタン**

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-7 「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログを表示します。

### 4.2.3.3 [AP]タブ-[LAN アクセスポイントの設定] ダイアログ

ここでは、LAN アクセスポイントの設定の確認や追加、編集、削除を行います。

図4-14 「LAN アクセスポイントの設定」ダイアログ



#### アクセスポイント

アクセスポイント名が表示されます。ここでは、アクセスポイントの変更はできません。

#### メディア

使用するメディアタイプを選択します。[ ]ボタンをタップすると、メディアタイプリストが表示されます。メディアタイプを直接入力することはできません。



**参考** メディアタイプの追加と変更を行いたい場合は、[ツール] - [オプション] - [アドバンス] ボタン - [アドバンス設定] の [ネットワーク環境設定] - [メディア設定] 環境設定項目をタップすると表示される 4.4.1.5 「メディア設定」ダイアログで行ってください。

#### ネットワーク識別IPアドレス

ネットワーク識別 IP アドレスの一覧を表示します。なお、表示形式は以下のとおりです。

表示 : xxx.xxx.xxx.xxx / xxx.xxx.xxx.xxx

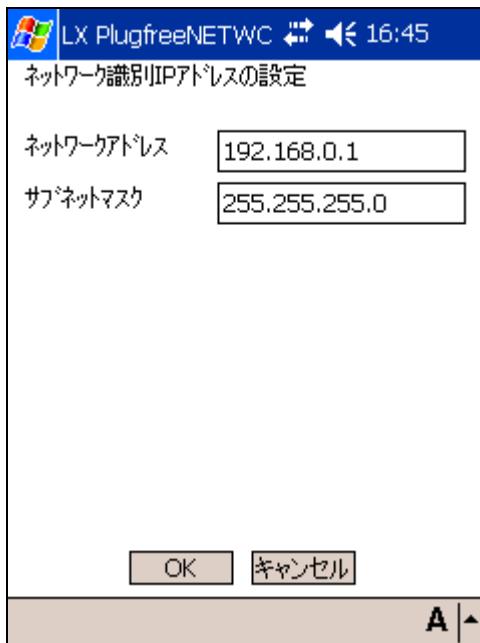
意味 : IP アドレス / サブネットマスク

#### [追加]ボタン

新規にネットワーク識別 IP アドレスを追加します。

ボタンをタップすると、「追加 / 編集」ダイアログが表示されます。

図4-15 LANアクセスポイントの設定「追加 / 編集」ダイアログ



#### ネットワークアドレス

ネットワーク識別用の IP アドレスを入力します。IP アドレスの範囲以外の設定値は、入力できません。

#### サブネットマスク

ネットワーク識別用のサブネットマスクを入力します。サブネットマスクの範囲以外の設定値は、入力できません。

#### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

#### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-14 「LAN アクセスポイントの設定」ダイアログを表示します。

#### [編集]ボタン

選択したネットワーク識別 IP アドレスを編集します。

ボタンをタップすると、「追加 / 編集」ダイアログが表示されます。なお、詳細については、上記の [追加] ボタンを参照してください。

#### [削除]ボタン

選択したネットワーク識別 IP アドレスを削除します。

#### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

#### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-7 「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログを表示します。

#### 4.2.3.4 [AP]タブ-「無線 LAN アクセスポイントの設定」ダイアログ

ここでは、無線 LAN アクセスポイントの設定の確認や追加、編集、削除を行います。

図4-16 「無線 LAN アクセスポイントの設定」ダイアログ



##### アクセスポイント

アクセスポイント名が表示されます。ここでは、アクセスポイントの変更はできません。

##### メディア

使用するメディアタイプを選択します。[ ]ボタンをタップすると、メディアタイプリストが表示されます。メディアタイプを直接入力することはできません。



**参考** メディアタイプの追加と変更を行いたい場合は、[ツール] - [オプション] - [アドバンス] ボタン - [アドバンス設定] の [ネットワーク環境設定] - [メディア設定] 環境設定項目をタップすると表示される 4.4.1.5 「メディア設定」ダイアログで行ってください。

## ネットワーク識別 IP アドレス

ネットワーク識別 IP アドレスの一覧を表示します。表示されたネットワーク識別IPアドレスに対して、追加、編集、削除を行うことができます。

なお、表示形式は以下のとおりです。

表示 : xxx.xxx.xxx.xxx / xxx.xxx.xxx.xxx

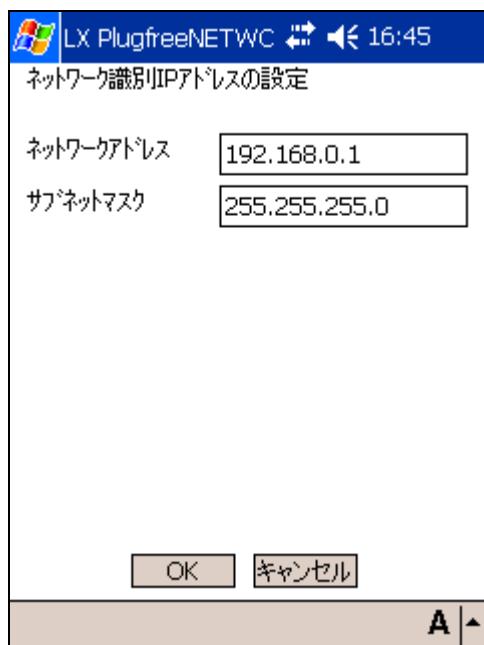
意味 : IP アドレス / サブネットマスク

### [追加]ボタン

新規にネットワーク識別 IP アドレスを追加します。

ボタンをタップすると、「追加 / 編集」ダイアログが表示されます。

図4-17 無線 LAN アクセスポイントの設定「追加 / 編集」ダイアログ



### ネットワークアドレス

ネットワーク識別用の IP アドレスを入力します。IP アドレスの範囲以外の設定値は、入力できません。

### サブネットマスク

ネットワーク識別用のサブネットマスクを入力します。サブネットマスクの範囲以外の設定値は、入力できません。

### [OK]ボタン

設定を有効にします。

### [キャンセル]ボタン

設定を無効にします。このダイアログを閉じ、[無線 LAN アクセスポイントの設定]ダイアログを表示します。

### [編集]ボタン

選択したネットワーク識別 IP アドレスを編集します。

ボタンをタップすると、「追加 / 編集」ダイアログが表示されます。なお、詳細については、上記の [ 追加 ] ボタンを参照してください。

### [削除]ボタン

選択したネットワーク識別 IP アドレスを削除します。

#### SSID

SSID 名を入力します。

#### セキュリティ (IPsec) を使う

IPsec を使用する場合、チェックします。

#### 自動認証を行う

自動認証を行う場合、チェックします。

#### [自動認証タイプ設定]

自動認証タイプを選択します。

#### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

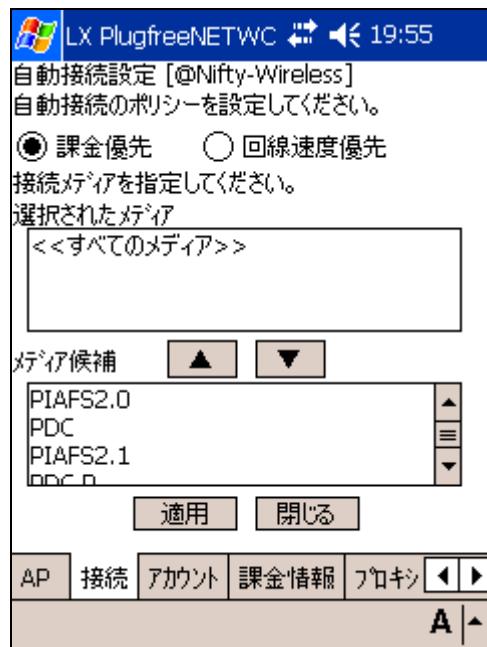
#### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-7 「設定の確認 / 変更 / 削除」ダイアログを表示します。

#### 4.2.3.5 [接続]タブ

ここでは、接続の設定の確認、変更を行います。

図4-18 設定の確認／変更 [接続]タブ



##### 課金優先

自動接続時のポリシーを[課金優先]に設定します。自動接続するときに、コストを優先してメディアを選択します。

##### 回線速度優先

自動接続時のポリシーを[回線速度優先]に設定します。自動接続するときに、回線速度の速いメディアを優先して接続します。

##### 選択されたメディア

プロファイルで使用する接続メディアが表示されます。なお、選択されたメディアがない場合は[ << すべてのメディア >> ]が表示され、メディアを問わず接続する指定ができます。

##### [ ]ボタン

「メディア候補」で選択したメディアを「選択されたメディア」に移動します。なお、「選択されたメディア」に[ << すべてのメディア >> ]が表示されていた場合は、「メディア候補」のメディアが移動した時点で表示は消去されます。

## [ ]ボタン

「選択されたメディア」で選択したメディアを「メディア候補」に移動します。

なお、「選択されたメディア」にメディアがなくなった場合には、[ << すべてのメディア >> ]を表示します。

## メディア候補

プロファイルで使用できる接続メディアの候補が表示されます。

ただし、この項目に表示されるメディアは、すべての候補メディアの中から「選択されたメディア」で表示されたメディアを除いたものが表示されます。

## [適用]ボタン

設定内容を有効にします。

## [閉じる]ボタン

このダイアログを閉じ、図4-7 「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログを表示します。



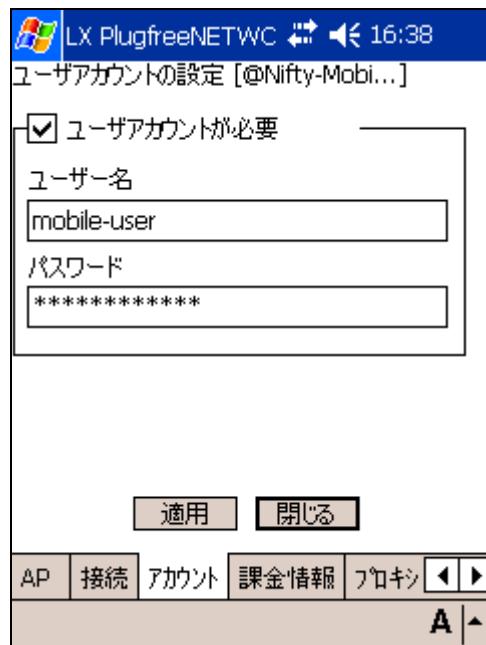
**参考** 自動接続時のポリシー（課金優先、回線速度優先）のメディアにおける優先順位の決定は、「メディア優先度設定」ダイアログで行います。

「メディア優先度設定」ダイアログは、[ツール] - 「オプション」 - [アドバンス] ボタン - [アドバンス設定] の [接続環境設定] - [メディア優先度設定] 環境設定項目をタップすることにより表示されます。

#### 4.2.3.6 [アカウント]タブ

ここでは、ユーザアカウントの設定の確認、変更を行います。

図4-19 設定の確認 / 変更 [アカウント]タブ



##### ユーザアカウントが必要

ユーザアカウントを設定する場合、チェックします。

##### [ユーザ名]

ログインする際のユーザ名を入力します。「ユーザアカウントが必要」がチェックされた状態で、入力しなかった場合には接続時に「アカウント」ダイアログが表示されます。

##### [パスワード]

ログインする際のパスワードを入力します。パスワードは省略できます。

パスワードを入力しなかった場合、ログインする際、パスワードを毎回入力することになります。

##### [適用]ボタン

設定内容を有効にします。

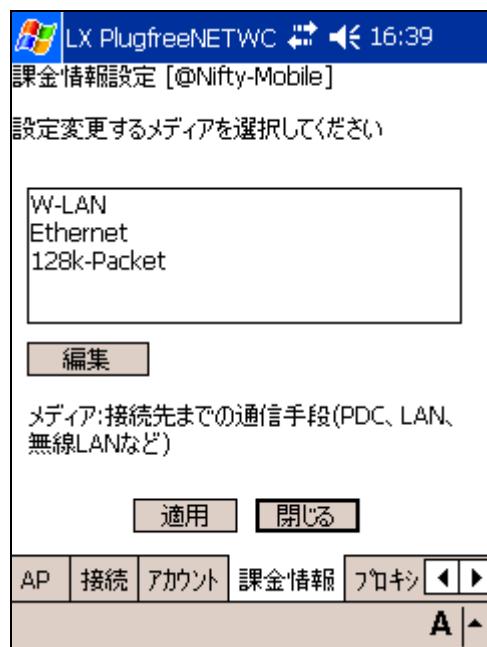
##### [閉じる]ボタン

このダイアログを閉じ、図4-7 「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログを表示します。

#### 4.2.3.7 [課金情報]タブ

ここでは、メディアに対する課金設定の確認、変更を行います。

図4-20 設定の確認 / 変更 [課金情報]タブ



設定変更するメディアを選択してください

変更対象のメディアがリスト表示されます。設定変更するメディアをタップして選択してください。

[編集]ボタン

選択されたメディアの編集を行います。ボタンをタップすると、編集用の「課金設定」ダイアログが表示されます。

図4-21 「課金設定」ダイアログ



#### 課金種別

課金種別を選択します。以下の三つが選択できます。

[課金なし]

[時間課金]

[定額]

#### 課金単価

[時間課金]が選択された場合だけ、課金単価を入力します。下2桁まで入力できます。

#### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

#### [閉じる]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、[課金情報]タブを表示します。

#### [適用]ボタン

設定内容を有効にします。

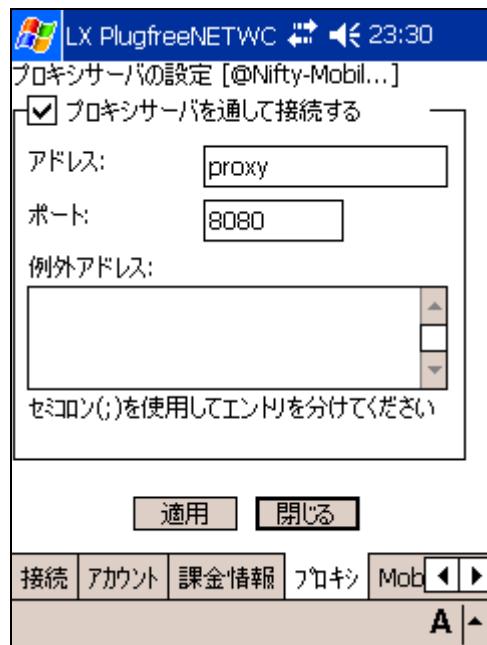
#### [閉じる]ボタン

このダイアログを閉じ、図4-7 「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログを表示します。

#### 4.2.3.8 [プロキシ]タブ

ここでは、プロキシの設定の確認、変更を行います。

図4-22 設定の確認 / 変更 [プロキシ]タブ



##### プロキシサーバを通じて接続する

プロキシサーバを通して接続する場合、チェックします。

##### [アドレス]

プロキシサーバのアドレスを入力します。

「プロキシサーバを通して接続する」をチェックした状態で、アドレスを入力していない場合、プロキシサーバを通して接続しないとみなされます。

##### [ポート]

プロキシサーバのポート番号を入力します。

「プロキシサーバを通して接続する」をチェックした状態で、ポート番号を入力していない場合、プロキシサーバを通して接続しないとみなされます。

##### 例外アドレス

プロキシサーバを通さないアドレスを指定します。

##### [適用]ボタン

設定内容を有効にします。

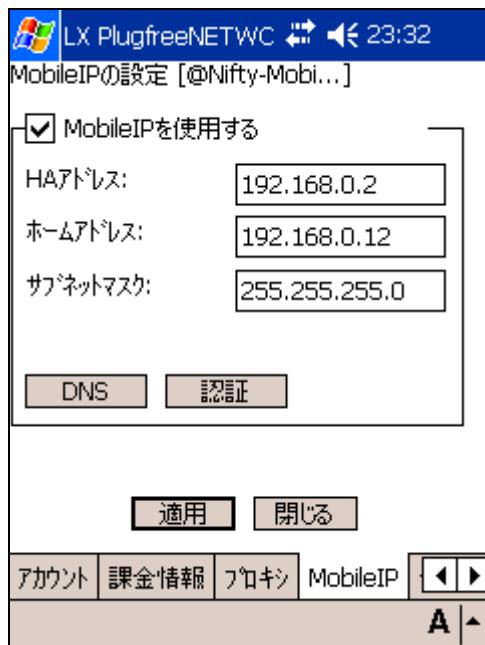
##### [閉じる]ボタン

このダイアログを閉じ、図4-7 「設定の確認 / 変更,削除」ダイアログを表示します。

#### 4.2.3.9 [MobileIP]タブ

ここでは、MobileIP の設定の確認、変更を行います。

図4-23 設定の確認 / 変更 [MobileIP]タブ



##### MobileIP を使用する

MobileIP を使用する場合、チェックします。



**注意** このオプションの設定を変更した場合、Pocket LOOX がリセットされます。他のアプリケーションを使用している場合、このオプションを変更する前にデータを保存してください。

##### [HA アドレス]

HA アドレスを入力します。IP アドレス範囲以外の設定値は、入力できません。

##### [ホームアドレス]

ホームアドレスを入力します。IP アドレス範囲以外の設定値は、入力できません。

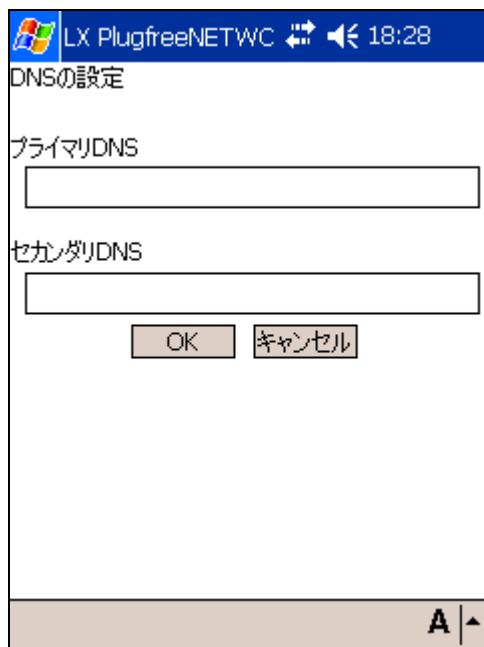
##### [サブネットマスク]

サブネットマスクを入力します。サブネットマスク範囲以外の設定値は、入力できません。

##### [DNS]ボタン

「DNS 設定」ダイアログが表示されます。

図4-24 「DNS 設定」ダイアログ



#### プライマリ DNS

プライマリ DNS を設定します。IP アドレスの範囲以外の設定値は、入力できません。

#### セカンダリ DNS

セカンダリ DNS を設定します。IP アドレスの範囲以外の設定値は、入力できません。

#### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

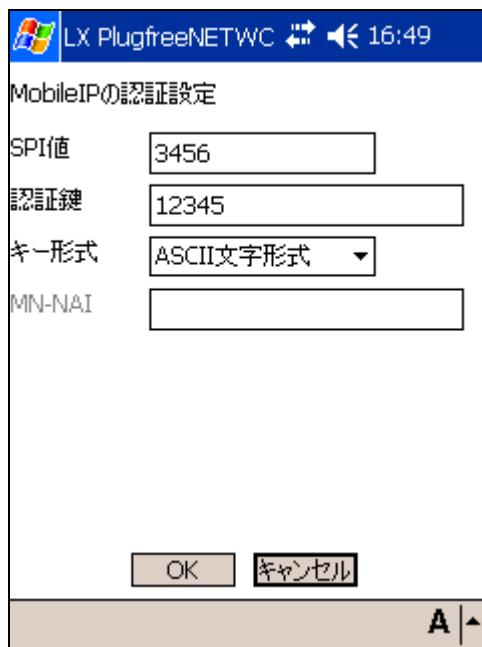
#### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、[MobileIP]タブを表示します。

#### [認証]ボタン

「MobileIP の認証設定」ダイアログが表示されます。

図4-25 MobileIP の認証設定ダイアログ



#### SPI 値

SPI 値を入力します。

#### 認証鍵

認証鍵を入力します。

[適用]ボタンをタップすると、キー形式に従って認証鍵の長さのチェックを行います。

#### キー形式

キー形式を選択します。以下の二つが選択できます。

[ASCII 文字形式]

[16 進数形式]

#### MN-NAI

MN-NAI を入力します。(現在、未サポート)

#### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。ただし、以下の場合はエラーとなります。

- SPI の有効範囲(256 ~ 2147483647)以外を入力した場合。

- SPI を指定し、認証鍵を入力していない場合。

認証鍵を指定し、SPI 値を入力していない場合。

- 認証鍵は 最大 16 バイトであるため、[ASCII 文字形式]選択時は 17 文字以上を、[16 進数形式]選択時は 33 文字以上を入力した場合。

([16 進数形式]選択時は、0~9、a~f だけが指定でき、奇数文字数の場合はエラーになります。)

#### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、[MobileIP]タブを表示します。

[適用]ボタン

設定内容を有効にします。

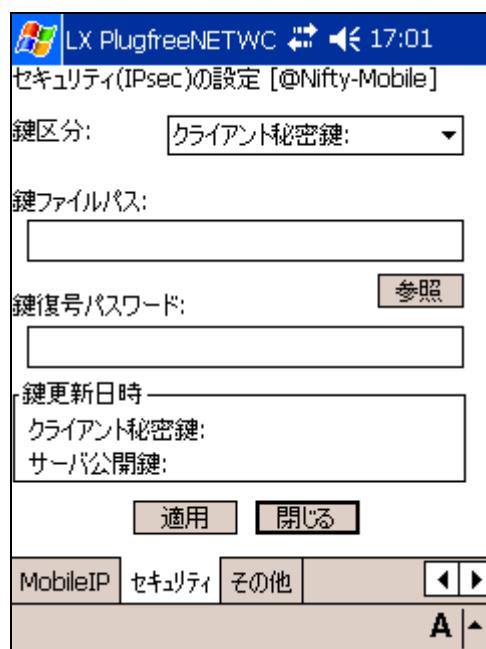
[閉じる]ボタン

このダイアログを閉じ、図4-7 「設定の確認 / 変更、削除」ダイアログを表示します。

#### 4.2.3.10 [セキュリティ]タブ

ここでは、セキュリティ(IPsec)の設定の確認、変更を行います。

図4-26 設定の確認 / 変更 [セキュリティ]タブ



##### 鍵区分

鍵区分を選択します。以下の二つが選択できます。

[クライアント秘密鍵]

[サーバ公開鍵]

##### 鍵ファイルパス

鍵ファイルの存在するファイルパスを入力します。

[参照]ボタンで「ファイル選択」コマンダイアログからファイルを指定することもできます。

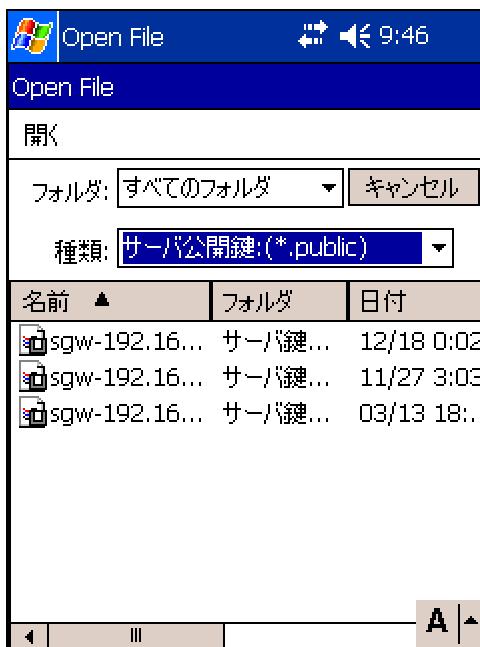


**ポイント** 鍵ファイルは PC を経由してモバイル端末(Pocket LOOX)の My Documents フォルダに、またはモバイル端末からアクセス可能なコンパクトフラッシュなどの外部媒体に、あらかじめコピーしておく必要があります。

### [参照]ボタン

鍵ファイルの存在するファイルパスを指定するための、「ファイル選択」コマンダイアログを表示します。

図4-27 「ファイル選択」コマンダイアログ



### 鍵復号パスワード

鍵区分で [ クライアント秘密鍵 ] を選択した場合、復号のパスワードを入力します。

鍵区分で [ サーバ公開鍵 ] を選択した場合、入力する必要はありません。

### 鍵更新日時

鍵更新日時が表示されます。フォーマットは以下のとおりです。

クライアント鍵更新日時 : yyyy / mm / dd

サーバ鍵更新日時 : yyyy / mm / dd

### [適用]ボタン

設定内容を有効にします。

ボタンをタップすると、鍵区分で選択した鍵ファイルの情報が取り込まれます。鍵ファイルが正常に取り込まれた場合、鍵ファイルは削除されます。



**参考** IPsec 機能を使用するには、クライアント秘密鍵と、接続する台数分のサーバ公開鍵を取り込む必要があります。

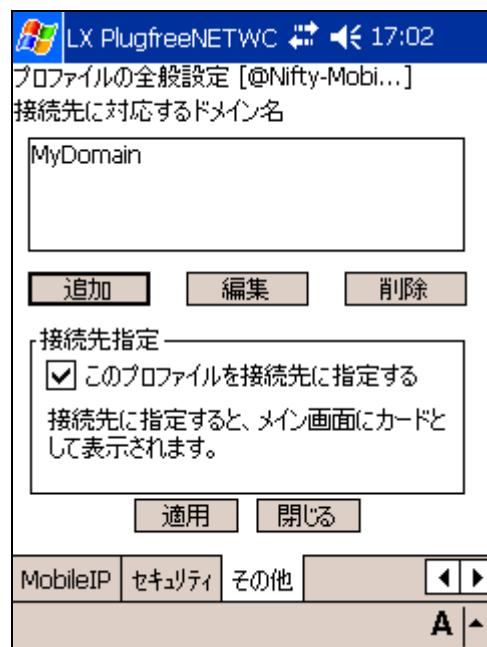
### [閉じる]ボタン

このダイアログを閉じ、図4-7 「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログを表示します。

#### 4.2.3.11 [その他]タブ

ここでは、他の設定の確認、変更を行います。

図4-28 設定の確認 / 変更 [その他]タブ



接続先に対応するドメイン名

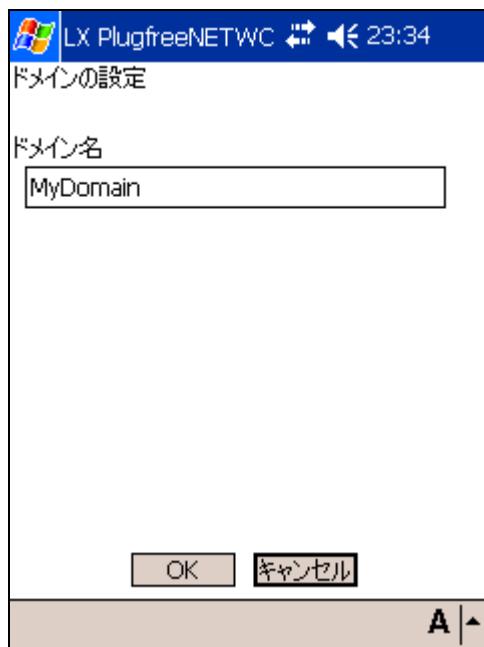
参加するドメイン名を選択します。

[追加]ボタン

ドメインを追加します。

ボタンをタップすることで「ドメインの設定」ダイアログが表示されます。

図4-29 「ドメインの設定」ダイアログ



**ドメイン名**

ドメイン名を入力します

**[OK]ボタン**

設定内容を有効にします。

**[キャンセル]ボタン**

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、[その他]タブを表示します。

**[編集]ボタン**

選択されたドメイン名を編集します。

ボタンをタップすると、「ドメイン名の設定」ダイアログが表示されます。なお、詳細については、上記の [追加] ボタンを参照してください。

**[削除]ボタン**

選択されたドメイン名を削除します。

**接続先指定**

**[このプロファイルを接続先に指定する]**

この項目をチェックした場合、接続先プロファイルとして指定できます。

**[適用]ボタン**

設定内容を有効にします。

**[閉じる]ボタン**

このダイアログを閉じ、図4-7 「設定の確認 / 変更、削除」ダイアログを表示します。

#### 4.2.4 設定の削除

設定の削除方法には、「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログを利用する方法と接続カードから行う方法の二つがあります。

##### 「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログを利用する方法

設定の削除を「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログから行う場合は、次の手順で行います。

1. 「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログを表示します。表示方法については、4.2.1「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログの表示方法を参照してください。
2. 「プロファイル」のリストから目的のプロファイル名を選択します。

図4-30 「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログ



3. [削除]ボタンをタップします。
4. 「設定「プロファイル名」を削除しますか？」メッセージに「はい」で応答すると削除されます。なお、「いいえ」で応答すると、削除されません。メッセージを閉じ、「設定の確認 / 変更, 削除」ダイアログに戻ります。

## 接続カードから行う方法

接続カードから設定の削除を行う場合は、次の手順で行います。

1. メイン画面のフォーカスカードをタップしたまま押さえていると、ポップアップメニューが表示されます。

図4-31 設定の確認 / 変更, 削除画面



**注意** メイン画面表示されている接続カードに対してだけ、削除を行うことができます。

2. ポップアップメニューから[設定削除]をタップします。
3. 「設定「プロファイル名」を削除しますか？」メッセージに「はい」で応答すると、設定が削除されます。なお、「いいえ」で応答すると、削除されません。メッセージを閉じ、メイン画面に戻ります。

## 4.3 設定のインポート／エクスポート

ここでは、プロファイルのインポートとエクスポートについて説明します。

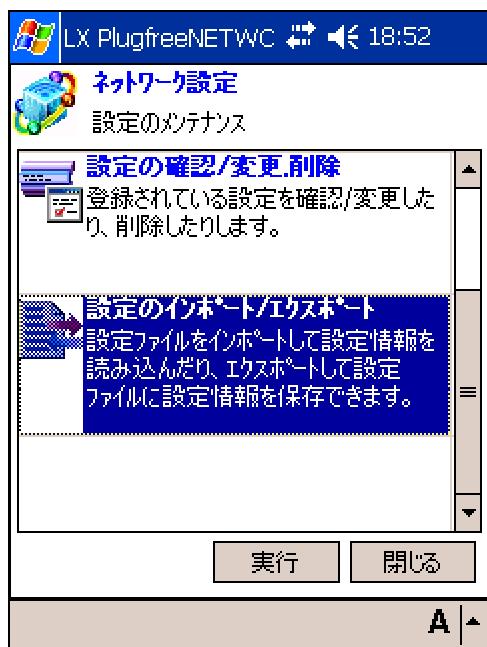
この機能を利用することで、複数のモバイル端末（Pocket LOOX）に対して同様の設定を行う際の手間を軽減できます。

### 4.3.1 「設定のインポート／エクスポート」ダイアログ

「設定のインポート／エクスポート」ダイアログは、既存の環境設定情報（プロファイル）を外部ファイルにエクスポートしたり、エクスポートした外部ファイルをインポートしたりするためのダイアログです。

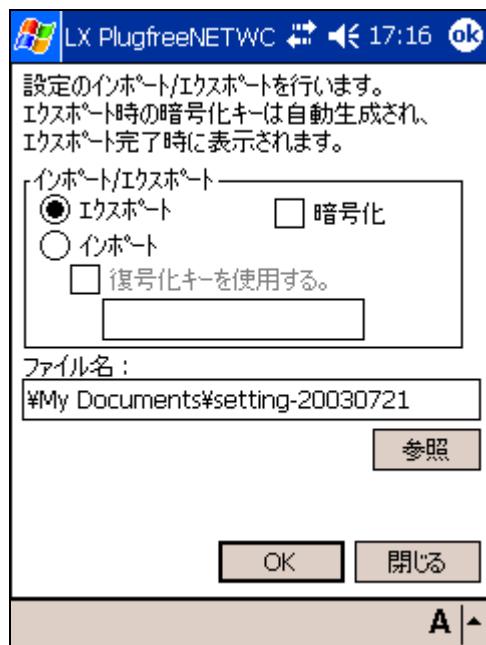
「設定のインポート／エクスポート」ダイアログは、[ツール] - [ネットワーク設定] - [設定のインポート／エクスポート]を選択し、[実行]ボタンをタップすることで表示されます。また、[設定のインポート／エクスポート]をダブルタップします。

図4-32 ネットワーク設定画面



表示される「設定のインポート / エクスポート」ダイアログは以下のとおりです。

図4-33 「設定のインポート / エクスポート」 ダイアログ



## インポート / エクスポート

### [エクスポート]

設定をエクスポートする場合、チェックします。

### [暗号化]

エクスポートする時に暗号化する場合、チェックします。

### [インポート]

設定をインポートする場合、チェックします。

### [復号化キーを使用する。]

暗号化されたエクスポートファイルを取り込む場合、チェックします。

チェックした場合、復号キーが入力できます。

### ファイル名

インポートまたはエクスポートするファイル名を入力します。

デフォルトで “¥My Documents¥settings-日付” が自動的に設定されます。

### [参照]ボタン

ファイル名を変更する場合は、タップします。

ボタンをタップすることで、表示された「ファイル選択」 コモンダイアログから任意のファイルを選択します。なお、直接編集もできます。

「ファイル選択」 コモンダイアログは、インポートする場合とエクスポートする場合で異なります。

図4-34 「ファイル選択」 コマンダイアログ(エクスポート時)

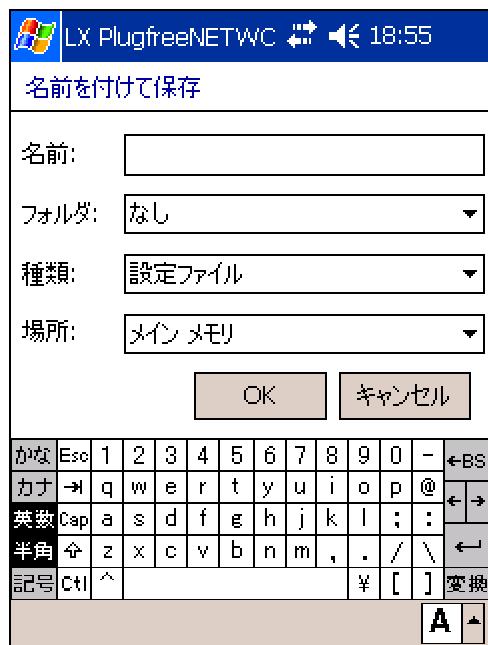
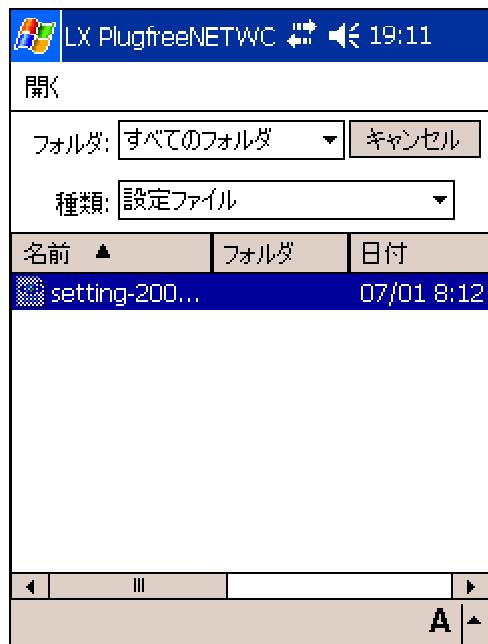


図4-35 「ファイル選択」 コマンダイアログ(インポート時)



[OK]ボタン

インポートまたはエクスポートを行います。

[閉じる]ボタン

「設定のインポート / エクスポート」ダイアログを閉じます。

## 4.3.2 設定のインポート

インポートは、以下の拡張子を持つ通常モード用とネットワーク自動接続モード用の設定ファイルを一度にインポートします。

通常モード用 : \*.PFN

ネットワーク自動接続モード用 : \*.XML



**注意** インポートを行うと、プロファイルおよびネットワーク自動接続モードのネットワーク自動接続機能の設定内容がすべて変更されます。



**注意** MobileIP の設定（「MobileIP を使用する。」項目のチェック状態）が異なる設定ファイルをインポートした場合、Pocket LOOX はリセットされます。他のアプリケーションを使用している場合、インポートを行う前にデータを保存してください。  
なお、MobileIP の設定については、図3-6 オプションダイアログを参照してください。



**ポイント** この機能は、通常モードまたはネットワーク自動接続モードに関係なく使用できます。



**ポイント** 他のモバイル端末（Pocket LOOX）よりエクスポートされたネットワーク自動接続モード用の設定ファイルをインポートした場合、以下のタブにおいて必要に応じて各項目の再設定を行います。

### 4.2.3.6 [ アカウント ] タブ

必要な項目の再設定を行います。

### 4.2.3.9 [ MobileIP ] タブ

MobileIP を使用する場合、[ ホームアドレス ] の再設定を行います。

### 4.2.3.10 [ セキュリティ ] タブ

IPsec を使用する場合、鍵ファイルの再読み込みを行います。

以下に、例を用いて説明します。

## 例) ネットワーク自動接続モード用の設定がインポートされる場合

ネットワーク自動接続モード用の設定の場合、インポートされる順番は、先にネットワーク自動接続モード用の設定がインポートされ、次に通常モード用の設定がインポートされます。それぞれのインポート処理の途中でエラーが発生した場合は、正常に読み込んだところまでをインポートします。

### インポート手順

1. [インポート]ボタンをチェックします。  
暗号化されたエクスポートファイルを取り込む場合、[復号化キーを使用する。]をチェックします。
2. [ファイル名]にファイル名を入力します。  
デフォルトで入力されているファイル名を変更する場合は、直接編集するか、[参照]ボタンをタップして「ファイル選択」コマンダイアログからファイルを選択します。
3. [OK]ボタンをタップします。
4. メッセージに対して、[はい]ボタンを選択すると、インポートが開始されます。  
なお、[いいえ]ボタンを選択した場合、インポートは中止され、メッセージを閉じ、メイン画面に戻ります。

### 4.3.3 設定のエクスポート

エクスポートは、以下の拡張子を持つ通常モード用とネットワーク自動接続モード用の設定ファイルを一度にエクスポートします。

通常モード用 : \*.PFN  
ネットワーク自動接続モード用 : \*.XML



**注意** エクスポートした ネットワーク自動接続モード用の設定ファイルは、他 OS の SeamlessLink ヘインポートしないでください。  
セキュリティ (IPsec) の鍵ファイルはエクスポートされません。インポートしたあとに、そのモバイル端末 (Pocket LOOX) の鍵ファイルを取り込んでください。



**ポイント** この機能は、通常モードまたはネットワーク自動接続モードに関係なく使用できます。

以下に、例を用いて説明します。

#### 例) ネットワーク自動接続モード用の設定がエクスポートされる場合

ネットワーク自動接続モード用の設定の場合、エクスポートされる順番は、先にネットワーク自動接続モード用の設定がエクスポートされ、次に通常モード用の設定がエクスポートされます。それぞれのエクスポートの処理途中でエラーが発生した場合は、正常に読み始めたところまでをエクスポートします。

#### エクスポート手順

- [エクスポート]ボタンをチェックします。  
暗号化してエクスポートする場合、[暗号化]をチェックします。
- [ファイル名]にファイル名を入力します。  
デフォルトで入力されているファイル名を変更する場合は、直接編集するか、[参照]ボタンをタップして「ファイル選択」コマンダイアログからファイルを選択します。
- [OK]ボタンをタップします。
- メッセージに対して、[はい]ボタンを選択すると、エクスポートが開始されます。  
なお、[いいえ]ボタンを選択した場合、エクスポートは中止され、メッセージを閉じ、メイン画面に戻ります。

## 4.4 アドバンス設定による詳細環境設定

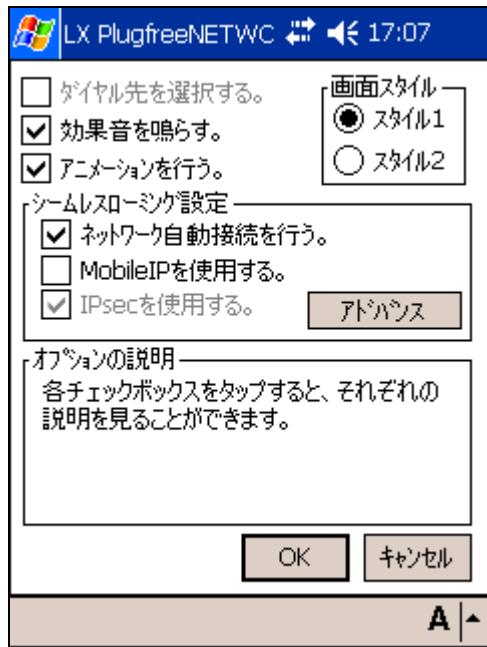
ここでは、プロファイルやアクセスポイントの設定に依存しない部分の環境設定や、Seamlesslink 機能を使用するための環境設定の設定、編集、削除について説明します。

### 4.4.1 「アドバンス設定」ダイアログ

「アドバンス設定」ダイアログは、プロファイルやアクセスポイントの設定に依存しない部分の環境設定や、Seamlesslink 機能を使用するための環境設定の設定、編集、削除を行うことができます。

「アドバンス設定」ダイアログは、[ツール] - [オプション]の[アドバンス]ボタンをタップすることで表示されます。

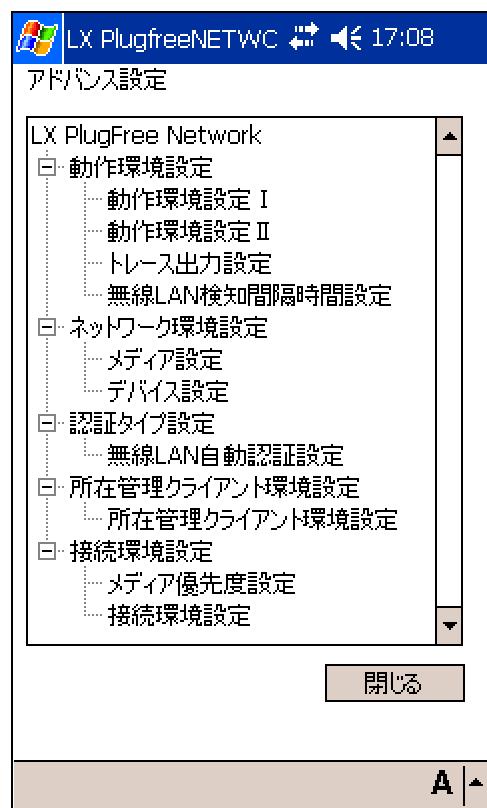
図4-36 「オプション」ダイアログ



表示される「アドバンス設定」ダイアログは以下のとおりです。

環境設定項目がツリー表示されます。

図4-37 「アドバンス設定」ダイアログ



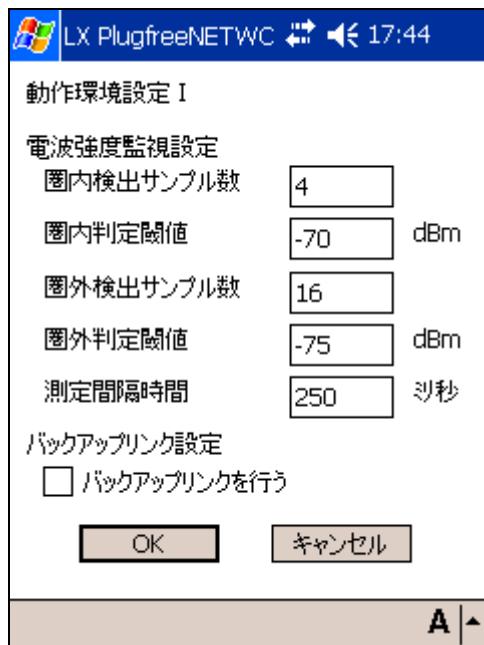
ツリー表示された環境設定項目をダブルタップするか、または[+]をタップすることで、各環境設定項目が表示されます。

表示されたら、選択したい環境設定項目をダブルタップします。

#### 4.4.1.1 「動作環境設定」 – 「動作環境設定」 ダイアログ

ここでは、バックアップリンクの設定を行います。

図4-38 「動作環境設定」 ダイアログ



##### 電波強度監視設定

###### [圏内検出サンプル数]

圏内検出サンプル数を設定します。値は、1~100（デフォルト：4）の範囲で入力します。

###### [圏内判定閾値]

圏内判定閾値を設定します。値は、-90~-30（デフォルト：-70）dBm の範囲で入力します。

###### [圏外検出サンプル数]

圏外検出サンプル数を設定します。値は、1~100（デフォルト：16）の範囲で入力します。

###### [圏外判定閾値]

圏外判定閾値を設定します。値は、-95~-35（デフォルト：-75）dBm の範囲で入力します。

###### [測定間隔時間]

測定間隔時間を設定します。値は、10~1000（デフォルト：250）ミリ秒の範囲で入力します。

## バックアップリンク設定

### [バックアップリンクを行う]

「バックアップリンク」を行う場合、チェックします。

### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-36 「オプション」ダイアログを表示します。



参考

“バックアップリンク”とは、通信中のメディアの通信状態が悪くなった場合、事前に常時リンクを確立するメディアを設定しておくことで、よりスムーズな接続の切替えを実現するための機能です。

なお、この項目をチェックした場合でも、下記の条件を満たす必要があります。

各メディアで常時接続の設定が行われている必要があります。複数のメディアに常時接続の設定が行われている場合は、最もよい通信状態のメディアが自動接続の対象となります。常時設定の確認は、[ツール] - [オプション] - [アドバンス] ボタン - [アドバンス設定] の [ネットワーク環境設定] - [メディア設定] 環境設定項目をタップすると表示される図4-42 「メディア設定」ダイアログで行います。

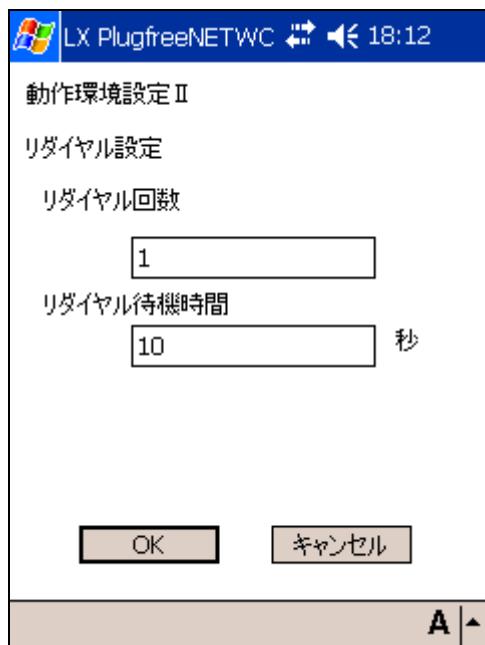
MobileIP 機能を使用する場合の設定が行われている必要があります。設定の確認は、[ツール] - [設定の確認 / 変更, 削除] の 4.2.3.9 [MobileIP] タブで行います。

「オプション」ダイアログで、[MobileIP を使用する] がチェックされている必要があります。オプションについては、3.2.2.2 オプションを参照してください。

#### 4.4.1.2 「動作環境設定」 – 「動作環境設定」 ダイアログ

ここでは、PPP 系アクセスポイントへ接続する場合のリダイヤルの設定を行います。この設定により自動的にリダイヤルされます。

図4-39 「動作環境設定」 ダイアログ



##### リダイヤル設定

###### [リダイヤル回数]

リダイヤル回数を設定できます。値は、0~10（デフォルト：1）回の範囲で入力します。

###### [リダイヤル待機時間]

リダイヤルする際の待機時間を設定します。値は、0~60（デフォルト：10）秒の範囲で入力します。

###### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

###### [キャンセル]ボタン

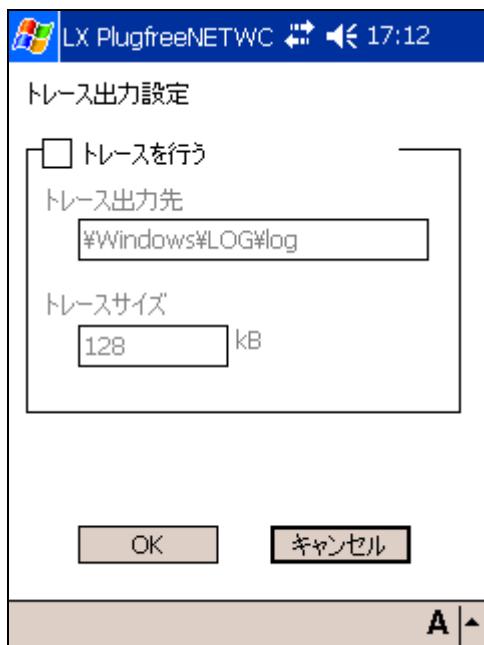
設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-36 「オプション」 ダイアログを表示します。

#### 4.4.1.3

#### 「動作環境設定」 – 「トレース出力設定」ダイアログ

ここでは、トレース出力の設定を行います。採取されたトレース情報は、Seamlesslink でのトラブル発生時に調査資料となります。

図4-40 「トレース出力設定」ダイアログ



##### トレースを行う

トレース出力を実行する場合、チェックします。

##### [トレース出力先]

トレースを出力するファイルを保存するディレクトリとファイル名のプレフィックスを指定します。

デフォルトは、“インストールディレクトリ¥LOG¥log”です。この場合、LOGディレクトリに複数の“logXXXX”というトレースファイルが生成されます。



**注意** トレース出力先に存在しないディレクトリを指定した場合、ログは出力されません。

##### [トレースサイズ]

トレースサイズを指定します。値は、64 ~ 16384 (デフォルト : 128) KBの範囲で入力します。数字以外は入力できません。

**[OK]ボタン**

設定内容を有効にします。

**[キャンセル]ボタン**

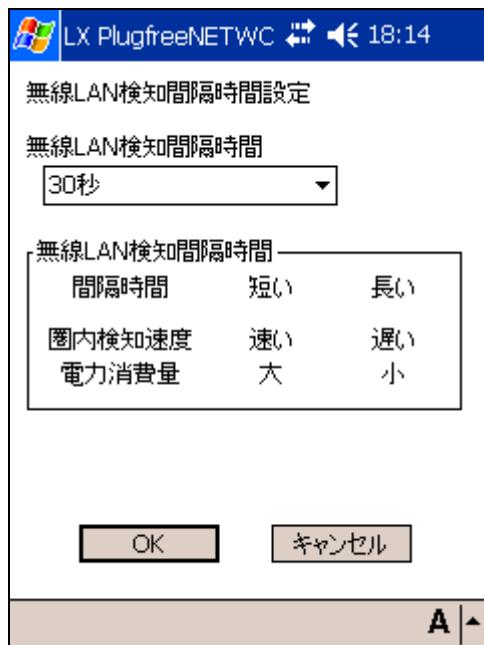
設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-36 「オプション」ダイアログを表示します。

#### 4.4.1.4

#### 「動作環境設定」-「無線 LAN 検知間隔時間設定」ダイアログ

ここでは、無線 LAN アクセスポイントに接続する場合の検知間隔時間設定を行います。

図4-41 「無線 LAN 検知間隔時間設定」 ダイアログ



##### 無線LAN検知間隔時間

無線 LAN 検知の間隔を設定します。

設定値は、10秒～60秒までの10秒単位に選択します。

##### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

##### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-36 「オプション」 ダイアログを表示します。

#### 4.4.1.5 「ネットワーク環境設定」 - 「メディア設定」ダイアログ

ここでは、すべてのメディアに対する環境設定の確認と追加、編集、削除を行うことができます。

メディアの環境設定の内容は、以下のとおりです。

メディア種別

メディア区分

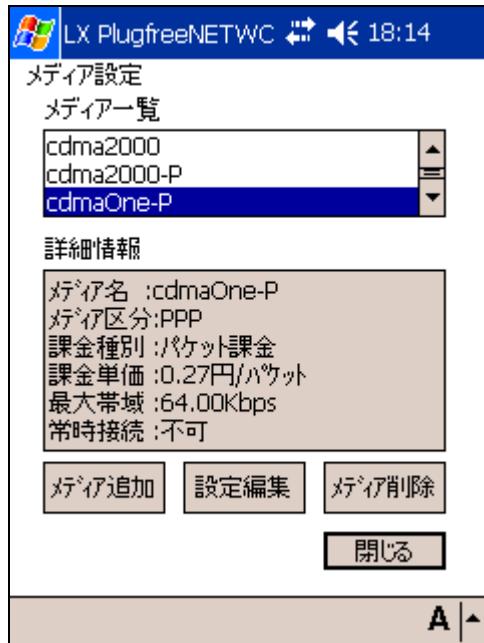
課金種別

課金単価

最大帯域

常時接続

図4-42 「メディア設定」ダイアログ



##### メディア一覧

すべてのメディアが一覧表示されます。

各メディアの環境設定がすべて表示されます。

##### 詳細情報

メディア一覧から選択されているメディアの詳細情報を表示します。



**注意** Seamlesslink では DDI ポケットのフレックスチェンジ方式を従量課金として扱っています。

### [メディア追加]ボタン

新規に、メディア一覧へメディアの環境設定を追加します。

ボタンをタップすると、「メディア設定 追加」ダイアログが表示されます。

図4-43 「メディア設定 追加」ダイアログ



#### メディア種別名

メディア種別名を入力します。

#### メディア区分

メディア区分を選択します。以下の三つが選択できます。

[PPP]

[LAN]

[WLAN]

#### 課金種別

課金種別を選択します。以下の三つが選択できます。

[課金なし]

[時間課金]

[パケット課金]

#### 課金単価

メディア種別に対する従量制の通信料金を入力します。

単位は、上記で指定した課金種別によって異なります。

時間課金：円 / 分

パケット課金：円 / Kbps

値は、分またはKbps単位に、小数第2位まで入力できます。



参考

課金単価で指定した値は、自動接続時のポリシーで“課金優先”をチェックした場合の判定に利用されます。例えば、1台のモバイル端末（Pocket LOOX）に複数のメディアを装着している場合、“課金優先”がチェックされていると、自動的に価格が安価なメディアを使用して接続します。

#### 最大帯域

通信時の最大帯域幅を入力します。単位は「Kbps」です。

値は、小数第2位まで入力できます。



参考

最大帯域で指定した値は、自動接続時のポリシーで“回線速度優先”をチェックした場合の判定に利用されます。例えば、1台のモバイル端末（Pocket LOOX）に複数メディアを装着している場合、“回線速度優先”がチェックされていると、自動的に高速なメディアを使用して接続します。自動接続時のポリシーについては、4.2.3.5 [接続] タブを参照してください。

#### 常時接続

常時接続するか、常時接続しないかを選択します。以下の二つが選択できます。

可能

不可能

#### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

#### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-42 「メディア設定」ダイアログを表示します。

#### [設定編集]ボタン

選択したメディアを編集します。

ボタンをタップすると、「メディア設定 編集」ダイアログが表示されます。ただし、編集の場合、「メディア種別名」には選択したメディア名が表示されますが、変更はできません。なお、各項目やボタンの説明については、上記の [メディア追加] ボタンを参照してください。

#### [メディア削除]ボタン

選択したメディアを削除します。

#### [閉じる]ボタン

このダイアログを閉じ、図4-36 「オプション」ダイアログを表示します。

#### 4.4.1.6 「ネットワーク環境設定」 - 「デバイス設定」ダイアログ

ここでは、PPP 系アクセスポイントに接続する場合に使用するデバイスとメディア種別名の関係付けを設定します。

図4-44 「デバイス設定」ダイアログ



##### デバイス一覧

デバイスと関係付けられたメディア種別のすべての情報（以降、関係付けと表記）が一覧表示されます。

##### 詳細情報

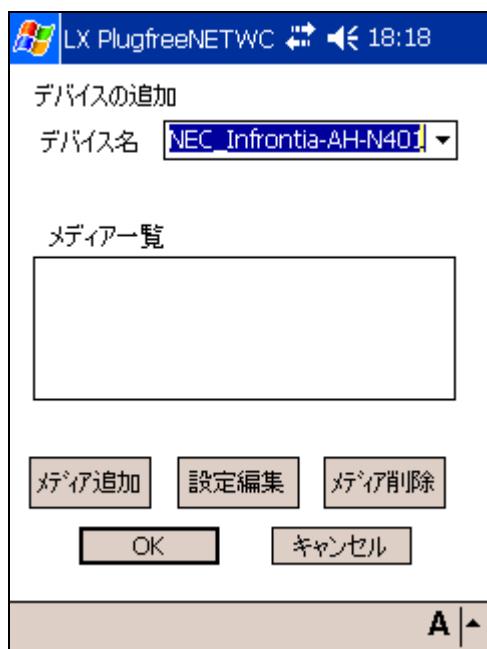
メディアの詳細情報を表示します。

##### [デバイス追加]ボタン

新規に、デバイス一覧へ“関連付け”を追加します。

ボタンをタップすると、「デバイス設定 追加」ダイアログが表示されます。

図4-45 「デバイス設定 追加」ダイアログ



#### デバイス名

デバイス名を入力します。または、装着デバイス名が表示されるため、デバイス名を選択します。

#### メディア一覧

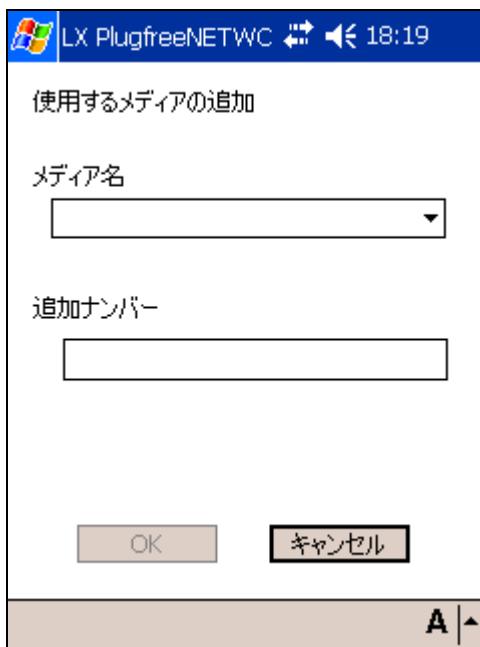
メディア一覧のすべての情報が一覧表示されます。

#### [メディア追加]ボタン

“関連付け”したメディアを追加します。

ボタンをタップすることで、「メディア設定 追加」ダイアログが表示されます。

図4-46 「メディア設定 追加」ダイアログ



#### メディア名

使用するメディア名を選択します。

#### 追加ナンバー

メディアを使用するときに付加する番号を入力します。 (#64など)

#### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

#### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-45 「デバイス設定 追加」ダイアログを表示します

#### [設定編集]ボタン

“関連付け”したメディアを編集します。

ボタンをタップすると、「メディア設定 編集」ダイアログが表示されます。

ただし、編集の場合、「メディア名」に使用するメディアが表示されますが、選択や変更はできません。なお、各項目やボタンの説明については、上記の [メディア追加] ボタンを参照してください。

#### [メディア削除]ボタン

メディア一覧からメディアを削除します。

#### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

#### [閉じる]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-44 「デバイス設定」ダイアログを表示します。

#### [設定編集]ボタン

選択したデバイス一覧を編集します。

ボタンをタップすると、「デバイス設定 編集」ダイアログが表示されます。

ただし、編集の場合、「デバイス名」に使用するデバイスが表示されますが、選択や変更はできません。なお、各項目やボタンについては、「デバイス設定」ダイアログの図4-45 「デバイス設定 追加」ダイアログを参照してください。

#### [デバイス削除]ボタン

選択したデバイス一覧を削除します。

#### [閉じる]ボタン

このダイアログを閉じ、図4-36 「オプション」ダイアログを表示します。

#### 4.4.1.7 「認証タイプ設定」 – 「無線 LAN 自動認証設定」ダイアログ

ここでは、無線 LAN 自動認証を使用する場合に設定を行います。

図4-47 「無線 LAN 自動認証設定」ダイアログ



##### 無線 LAN 自動認証一覧

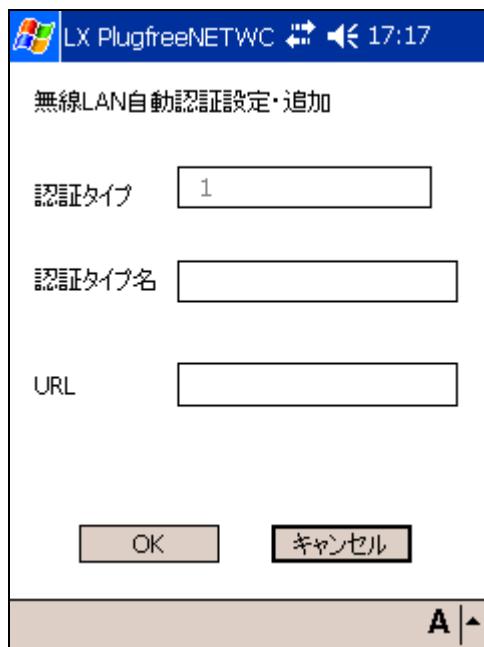
無線 LAN 自動認証に関するすべての設定情報が一覧表示されます。

##### [追加]ボタン

新規に、無線 LAN 自動認証一覧へ設定情報を追加します。

ボタンをタップすると、「無線 LAN 自動認証設定 追加」ダイアログが表示されます。

図4-48 「無線 LAN 自動認証設定 追加」ダイアログ



#### 認証タイプ

認証タイプを入力します。

#### 認証タイプ名

認証タイプ名を入力します。

#### URL:

無線 LAN 自動認証するための URL を入力します。

#### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

#### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-47 「無線 LAN 自動認証設定」ダイアログを表示します

#### [編集]ボタン

選択した無線 LAN 自動認証の設定情報を編集します。

ボタンをタップすると、「無線 LAN 自動認証設定 編集」ダイアログが表示されます。

なお、各項目やボタンの説明については、上記の [追加] ボタンを参照してください。

#### [削除]ボタン

選択した無線 LAN 自動認証の設定情報を削除します。

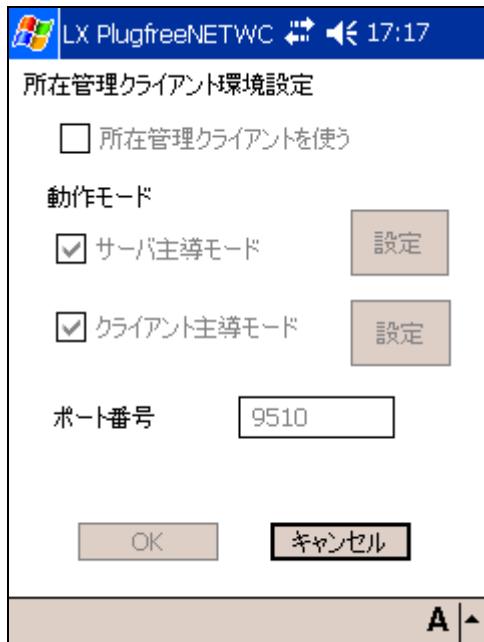
#### [閉じる]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-36 「オプション」ダイアログを表示します。

#### 4.4.1.8 「所在管理クライアント環境設定」 – 「所在管理クライアント環境設定」ダイアログ

ここでは、所在管理（オプション）機能を利用する場合に必要な設定を行います。

図4-49 「所在管理クライアント環境設定」ダイアログ



##### 所在管理クライアントを使う

所在管理機能を使用する場合、チェックします。



**注意** [所在管理クライアントを使う]をチェックした場合、動作モードの[サーバ主導モード]と[クライアント主導モード]のいずれか、または両方をチェックしてください。どちらもチェックしなかった場合、所在管理クライアントは動作しません。



**注意** 所在管理クライアントを使用する場合、「オプション」ダイアログで [ネットワーク自動接続を行う] および [MobileIP を使用する] を ON にする必要があります。なお、「オプション」ダイアログについては、3.2.2.2 オプションを参照してください。

##### 動作モード

###### [サーバ主導モード]

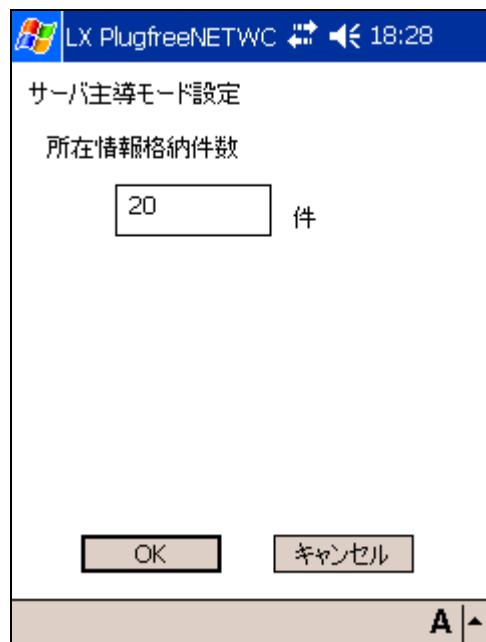
所在管理機能をサーバ主導モードで使用する場合、チェックします。

### [設定]ボタン

サーバ主導モードの場合、タップします。

ボタンをタップすることで、「サーバ主導モード設定」ダイアログが表示されます。

図4-50 「サーバ主導モード設定」ダイアログ



#### 所在情報格納件数

所在情報の最大格納件数を入力します。

値は、1~20（デフォルト：20）です。

#### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

#### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-49 「所在管理クライアント環境設定」ダイアログを表示します

#### [クライアント主導モード]ボタン

所在管理機能をクライアント主導モードで使用する場合、チェックします。



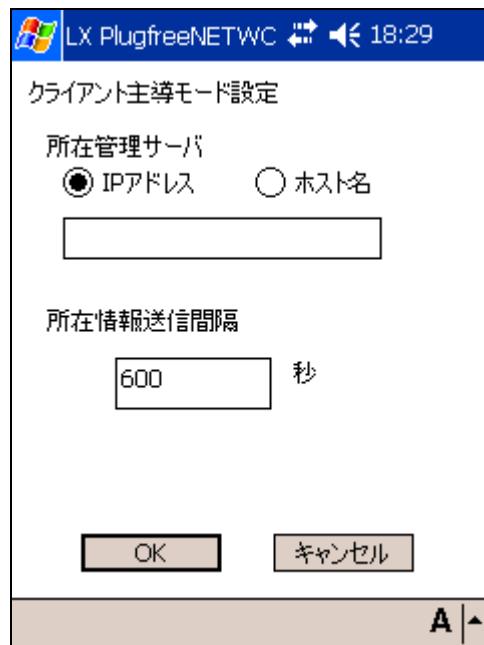
**注意** [クライアント主導モード]をチェックした場合、所在が変わることに、および「所在情報送信間隔」で指定した時間ごとに、所在管理サーバへデータを送信（最小 30 バイト、最大 110 バイト）します。したがって、パケット課金網を利用する場合にはチェックをしないなどの対応を行ってください。

### [設定]ボタン

クライアント主導モードの場合、タップします。

ボタンをタップすることで、「クライアント主導モード設定」ダイアログが表示されます。

図4-51 「クライアント主導モード設定」ダイアログ



#### 所在管理サーバ

所在管理サーバを設定します。以下の二つが選択できます。

[IP アドレス]：所在管理サーバを IP アドレスで設定する場合、チェックします。

[ホスト名]：所在管理サーバをホスト名で設定する場合、チェックします。

#### [アドレスまたはホスト名]

IP アドレスまたはホスト名を入力します。

省略した場合、MobileIP のサーバであるホームエージェントに所在情報が送信されます。

#### 所在情報送信間隔

所在情報の送信間隔を設定します。

値は、0 ~ 65535 (デフォルト : 600) 秒の範囲で入力します。

0 を指定した場合、所在に変更があったときだけ、所在管理サーバに所在情報を送信します。

**[OK]ボタン**

設定内容を有効にします。

**[キャンセル]ボタン**

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-49 「所在管理クライアント環境設定」ダイアログを表示します

**[ポート番号]**

クライアントの待ち受けポート番号およびサーバへの送信ポート番号を指定します。

通常は、デフォルト（9510）のまま運用し、変更する必要はありません。他の製品のポート番号と重複する場合に限り、5001～32767 の範囲で変更してください。

**[OK]ボタン**

設定内容を有効にします。

**[キャンセル]ボタン**

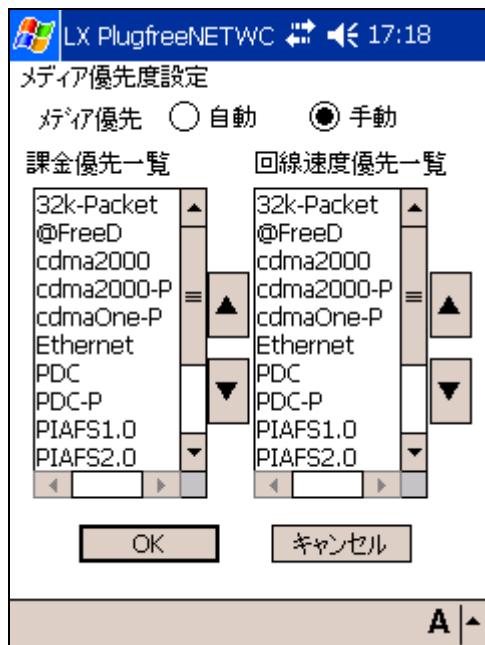
設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-36 「オプション」ダイアログを表示します。

#### 4.4.1.9

#### 「接続環境設定」-「メディア優先度設定」ダイアログ

ここでは、自動接続時のポリシー（課金優先、回線速度優先）の設定の確認や優先度の変更を行います。

図4-52 「メディア優先度設定」ダイアログ（手動の場合）



##### メディア優先

メディアにおける自動接続時のポリシー（課金優先、回線速度優先）の優先度を選択します。以下の二つが選択できます。

[自動]：メディア優先を自動で行う

[手動]：メディア優先を手動で行う

##### 課金優先一覧

[手動]が選択された場合、対象となるメディアが一覧表示されます。

課金優先時に優先するメディアを選択して、この一覧の右側にある[↑ / ↓]ボタンで優先順序を変更します。

##### 回線速度優先一覧

[手動]が選択された場合、対象となるメディアが一覧表示されます。

回線速度優先時に優先するメディアを選択して、この一覧の右側にある[↑ / ↓]ボタンで優先順位を変更します。

##### [↑]ボタン

回線速度優先一覧 / 課金優先一覧で選択したメディアの順位を、一つ繰り上げます。

##### [↓]ボタン

回線速度優先一覧 / 課金優先一覧で選択したメディアの順位を、一つ繰り下げます。

**[OK]ボタン**

設定内容を有効にします。

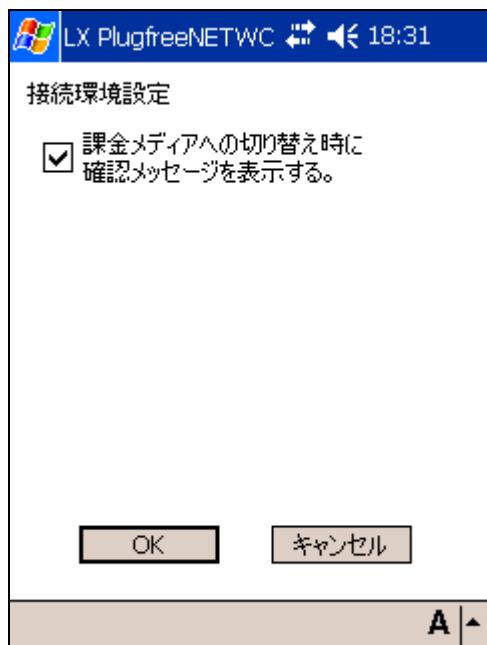
**[キャンセル]ボタン**

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-37 「アドバンス設定」ダイアログ(ツリー表示)を表示します。

#### 4.4.1.10 「接続環境設定」 – 「接続環境設定」ダイアログ

ここでは、通信中に課金メディアへの切替えが行われた場合、「課金メディアの切替え確認メッセージ」ダイアログを表示するか、表示しないかを設定します。

図4-53 「接続環境設定」ダイアログ



##### [課金メディアへの切り替え時に確認メッセージを表示する]

通信中に課金メディアの切替えが発生した際に確認メッセージを表示する場合、チェックします。

##### [OK]ボタン

設定内容を有効にします。

##### [キャンセル]ボタン

設定内容を無効にします。このダイアログを閉じ、図4-37 「アドバンス設定」ダイアログ（ツリー表示）を表示します。

## **第5章 制限事項**

---

---

本章では、Seamlesslink の制限事項について説明します。

## 5.1 制限事項

制限事項は、以下のとおりです。

1. LAN と無線 LAN のデフォルトゲートウェイが同じで、MobileIP を使用しない場合、切替えは発生しません。
2. MobileIP を使用しない場合、デフォルトゲートウェイがない有線 LAN ネットワークには接続できません。  
MobileIP を使用する場合、デフォルトゲートウェイがないネットワーク( 有線 LAN および無線 LAN ) は接続できません。  
この制限は、同一ネットワークで固定 IP アドレスが割り当てられているサーバなどの IP アドレスをデフォルトゲートウェイとして設定することで回避できます。
3. Pocket Internet Explorer を使用した通信は、HA と連携しても継続されません。
4. OS の自動接続にある設定 “ Fujitsu Seamlesslink ” を変更した場合、Seamlesslink が正しく動作しません。  
なお、誤って変更した場合、“ Fujitsu Seamlesslink ” の設定を削除し、いったんネットワーク自動接続モードを解除して通常モードにし、再度、ネットワーク自動接続モードにしてください。
5. MobileIP を使用した場合、ネットワークの接続確立後に「接続を確立しています」というメッセージ が表示されることがあります。
6. MobileIP を使用した場合、まれに無線 LAN デバイスで IP アドレスが取得できないことがあります。その場合、以下の手順で復旧してください。
  - 1) リセットスイッチを押してください( 通常のリセット ) ソフトリセットを行うことで復旧できます。
  - 2) 手順1)で復旧しない場合、Seamlesslink の [ ツール ] - [ オプション ] をタップすることで表示される図3-6 「オプション」ダイアログで、「MobileIP を使用する。」のチェックをはずし、再起動を行ったあと、[ スタート ] - [ 設定 ] - [ 接続 ] タブの「ネットワークアダプタ」で、再度、無線 LAN の設定を行ってください。  
接続できることを確認したあと、再度、Seamlesslink の [ ツール ] - [ オプション ] をタップすることで表示される図3-6 「オプション」ダイアログで、「MobileIP を使用する。」をチェックし、再起動を行ってください。

## **第6章　トラブルシューティング**

---

---

本章では、Seamlesslink のトラブルシューティングについて説明します。

## 6.1 メッセージ

ここでは、ネットワーク自動接続モードで操作する場合に表示されるメッセージについて説明します。

### 6.1.1 起動 / 終了時に表示されるメッセージ

起動 / 終了時に表示されるメッセージについて説明します。

#### 「プロファイル情報の取得に失敗しました。」

**説明** : ネットワーク自動接続モード用の設定情報の取得に失敗しました。設定内容を見直し、システムをリセット(通常のリセット)してください。

#### 「ネットワーク自動接続モード監視デーモンを実行できませんでした。」

**説明** : ネットワーク自動接続モード監視デーモンを起動することができませんでした。システムをリセット(通常のリセット)してください。

#### 「ネットワーク自動接続モード監視デーモンを終了できませんでした。」

**説明** : ネットワーク自動接続モード監視デーモンを終了することができませんでした。システムをリセット(通常のリセット)してください。

#### 「ネットワーク自動接続モード機能が使用できません。」

**説明** : ネットワーク自動接続モードが使用不可能な状態です。システムをリセット(通常のリセット)してください。

#### 「ネットワーク自動接続モードの状態取得に失敗しました。」

**説明** : ネットワーク自動接続モードの状態取得に失敗しました。一度、通常モードに戻したあと、再度ネットワーク自動接続モードにしてください。

#### 「ネットワーク自動接続モードを使用できません。通常モードで動作します。」

**説明** : ネットワーク自動接続モードに設定をしようとしましたが、使用不可能な状態だったため、通常モードに設定しました。ネットワーク自動接続モード関連の設定内容を見直し、システムをリセット(通常のリセット)してください。

## 6.1.2 接続 / 切断時に表示されるメッセージ

接続 / 切断時に表示されるメッセージについて説明します。

### 「切断できませんでした。」

**説明** : 切断に失敗しました。システム異常です。システムをリセット(通常のリセット)してください。

ただし、「課金メディア切替え確認」ダイアログおよび「アカウント」ダイアログの表示中で、ユーザの応答待ち状態の場合、切断はできません(強制的に切断を試みた場合、上記メッセージが表示されます)。ダイアログに応答したあと、切断してください。

### 「通信状態を取得できませんでした。」

**説明** : 通信状態の取得に失敗しました。システム異常の可能性があります。通信を切断し、システムをリセット(通常のリセット)してください。

### 6.1.3 設定の作成 / 編集、削除時に表示されるメッセージ

設定の作成 / 編集、削除時に表示されるメッセージについて説明します。

#### 「設定の確認/変更/削除を行うことができませんでした。」

**説明** : 設定の確認/変更/削除を行うことができませんでした。システム異常です。システムをリセット(通常のリセット)してください。

#### 「設定の削除を行うことができませんでした。」

**説明** : 設定の削除を行うことができませんでした。システム異常です。システムをリセット(通常のリセット)してください。

#### 「設定の新規作成ウィザードを実行できませんでした。」

**説明** : 設定ウィザードを実行できませんでした。システム異常です。システムをリセット(通常のリセット)してください。

#### 「設定の変更を行うことができませんでした。」

**説明** : 設定の変更を行うことができませんでした。システム異常です。システムをリセット(通常のリセット)してください。

#### 「ネットワーク自動接続モードの状態を変更できませんでした。設定はクリアされます。」

**説明** : ネットワーク自動接続モードの設定(ネットワーク自動接続 / MobileIP / IPsec)の変更を行うことができませんでした。システム異常です。システムをリセット(通常のリセット)してください。

#### 「アドバンス設定ダイアログを表示できませんでした。」

**設定** : アドバンス設定ダイアログの表示を行うことができませんでした。システム異常です。システムをリセット(通常のリセット)してください。

## 6.1.4 設定のインポート / エクスポート時に表示される メッセージ

設定のインポート / エクスポート時に表示されるメッセージについて説明します。

### 「インポートすると現在の設定に上書きされます。よろしいですか？」

**説明**：すでにシステムに設定情報が存在している状態で、インポートをしようとしました。続行すると現在の設定に上書きされます。

### 「指定されたファイルが既に存在します。上書きしますか？」

**説明**：「設定のインポート/エクスポート」ダイアログの[ファイル名]に入力されたファイルがすでに存在しています。続行するとそのファイルに上書きされます。

### 「設定をインポートできませんでした。」

**説明**：ライブラリのエラー（インポートファイルの異常やファイルが存在しないなど）で設定のインポートに失敗しました。以下を確認し、再度実行してください。

- ・インポートファイルが存在するか？
- ・インポートファイルが壊れていないか？
- ・パスワードを間違えてはいないか（暗号化ファイルをインポートする場合）？

解決しない場合はシステム異常の可能性があります。システムをリセット（通常のリセット）してください。

### 「設定をエクスポートできませんでした。」

**説明**：ライブラリのエラー（エクスポートファイルの書き込み失敗など）で設定のエクスポートに失敗しました。システム異常です。システムをリセット（通常のリセット）してください。

### 「通常モード用の設定ファイルが存在しません。ネットワーク自動接続モード用の設定のみインポートしました。」

**説明**：通常モード用の設定ファイルが存在しなかったので、ネットワーク自動接続モード用の設定ファイルのみをインポートしました。

## 6.2 ログ

ここでは、Seamlesslink で表示されるログについて説明します。

### 6.2.1 イベントログ

エラー発生時に出力されるイベントログについて説明します。

イベントログの種類は、以下のとおりです。

ネットワーク自動接続機能に関するイベントログ

MobileIP に関するイベントログ

セキュリティ機能に関するイベントログ

所在管理（オプション）に関するイベントログ

イベントログは、以下のファイルに出力されます。

インストールディレクトリ¥EVENT¥eventlog.txt

イベントログの出力形式は、以下のとおりです。

図4-54 イベントログの出力形式

日付	時刻	イベントID	イベント種別
ソース名			
メッセージ本文			

なお、イベントログとして出力されるメッセージは、Seamlesslink V1.0 クライアントと共に  
です。イベントログの詳細については、『Seamlesslink 説明書』を参照してください。



**注意** 『Seamlesslink 説明書』に記載されているソース名、およびメッセージ本文中で  
表示されるソース名を以下のように読み替えてください。

NetworkAgent(F3BW)	NetworkAgent
MobileIP(F3BW)	MobileIP
Fujitsu IPsec(F3BW)	IPsec
Location Manager(F3BW)	Location Manager

## 6.2.2 トレース

トラブル発生時に採取するトレースについて説明します。

設定がうまくいかない場合やエラーが発生した場合などのトラブル発生時は、トレースを採取してください。

なお、トレースを採取するためには、あらかじめ「トレース設定」を行う必要があります。

「トレース設定」の詳細については、図4-40 「トレース設定」ダイアログを参照してください。